

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 07 月 01 日

地域医療振興協会健康保険組合

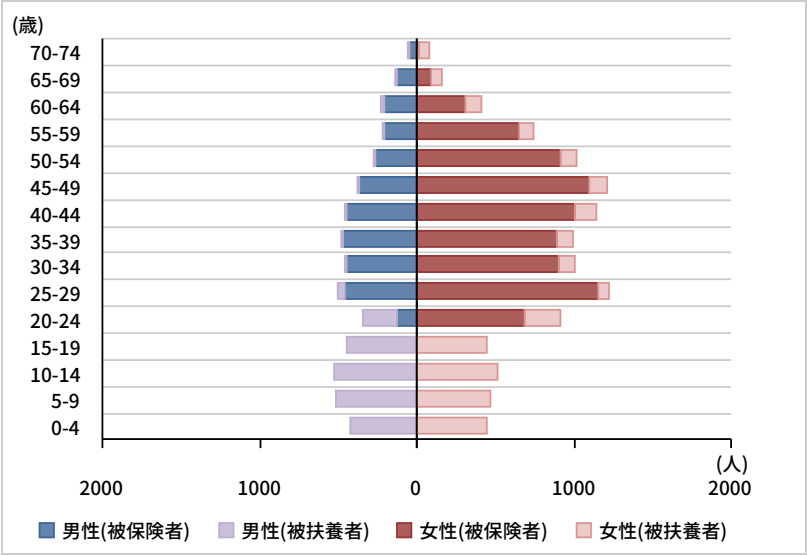
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	29865		
組合名称	地域医療振興協会健康保険組合		
形態	単一		
業種	医療、福祉		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	11,202名 男性29.2% (平均年齢42.26歳) * 女性70.8% (平均年齢40.79歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	16,499名	-名	-名
適用事業所数	72カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	72カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	96.0‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	1	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	25	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)		全体	5,333 / 6,147 = 86.8 %				
		被保険者	5,136 / 5,425 = 94.7 %				
		被扶養者	197 / 722 = 27.3 %				
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)		全体	142 / 801 = 17.7 %				
		被保険者	139 / 778 = 17.9 %				
		被扶養者	2 / 23 = 8.7 %				

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	2,573	230	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	5,215	466	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	8,305	741	-	-	-	-
	疾病予防費	91,497	8,168	-	-	-	-
	体育奨励費	0	0	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	107,590	9,605	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	5,612,588	501,034	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	1.92		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	5人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	129人	25～29	455人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	447人	35～39	470人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	447人	45～49	370人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	261人	55～59	210人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	211人	65～69	122人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	42人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	5人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	688人	25～29	1,159人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	906人	35～39	896人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,001人	45～49	1,093人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	915人	55～59	649人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	304人	65～69	94人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	16人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	422人	5～9	510人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	526人	15～19	449人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	218人	25～29	48人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	7人	35～39	8人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	13人	45～49	11人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	13人	55～59	14人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	20人	65～69	7人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	13人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	441人	5～9	473人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	519人	15～19	449人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	224人	25～29	64人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	98人	35～39	106人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	139人	45～49	115人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	105人	55～59	92人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	101人	65～69	73人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	65人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- ・母体協会が医療施設及び介護施設を運営していることから、看護師等女性の比率が高い。
- ・僻地又は離島の加入事業所が多く規模も一様でないことが、統一的な保健事業の実施の上での課題である。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴
・事業主と連携できている項目が少ない。
・被保険者のみで被扶養者は対象としていない事業内容がある。

事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
保健指導宣伝	メンタルヘルス管理監督者研修
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品促進通知
保健指導宣伝	広報誌「健保ガイド」
保健指導宣伝	広報紙「みんなのけんぽ」
保健指導宣伝	組合ホームページ
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査〔本人〕
特定健康診査事業	特定健康診査〔家族等〕
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	生活習慣病予防健診〔本人〕
疾病予防	生活習慣病予防健診〔家族等〕
疾病予防	重症化予防プログラム
疾病予防	インフルエンザ予防接種の一部補助
疾病予防	EAPサービス（こころの相談）
疾病予防	禁煙外来の一部補助
疾病予防	歯科健診
予算措置なし	健康相談
事業主の取組	
1	定期健康診断
2	QFT検査（クオンティフェロン[QuantiFERON]検査）
3	各種感染症検査（麻しん、風しん、水痘、ムンプス等）
4	インフルエンザ予防接種
5	B型肝炎ワクチン接種
6	各種感染予防接種（麻しん、風しん、水痘、ムンプス等）
7	ストレスチェック
8	メンタルヘルス管理監督者研修

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
保健指導宣伝	1	健康管理事業推進委員会	職員（被保険者）に係る健康情報の共有化	母体企業	男女	18～74	被保険者	0	1回開催（R4.12.1）	毎月、組合保健専門医から各事業所の健康管理委員に対して送付している「けんぽ便り」が浸透しつつある。	【課題】事業主との連携強化等の問題を踏まえ、今後の会議の在り方について検討が必要。	5
	1,3	メンタルヘルスマネジメント研修	メンタル疾患を原因とした休職者数の減	全て	男女	18～（上限なし）	被保険者	56	1回目 開催日：R4.5.13 講師等：岩崎きよみ（東京北医療センター） 参加人数 当日：229名、オンデマンド：11名（重複あり） 2回目 開催日：R4.9.16 講師等：大山寧々（日本赤十字社医療センター） 参加人数 当日：193名、オンデマンド：19名（重複あり）	特になし	特になし	5
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2,8	医療費通知	被保険者及び被扶養者に受診履歴や医療費額について確認を促すとともに、医療や健康に対する関心を深めてもらう。	全て	男女	0～74	加入者全員	1,679	四半期ごと（5、8、11、2月）の配布と併せて年間累計分（1～11月分）を医療費発生者全員に配布。 通知件数 ①四半期分（5月、8月、11月、2月）：35,246件〔33,612件〕 ②年間分：11,249件〔10,849件〕	特になし	【課題】医療費の適正化	5
	2,7	ジェネリック医薬品促進通知	ジェネリック医薬品の処方率の向上と薬剤費の削減	全て	男女	0～74	加入者全員	597	ジェネリック医薬品への切替により窓口負担額が500円以上の削減が生じるものを対象に配布。 対象期間：4月～12月診療分 送付個人枚数 1,324名〔1,418名〕 被保険者証に貼るジェネリック希望シールの配布 R5.1「みんなのけんぽ№24冬号」	特になし	【課題】ジェネリックの使用比率は増加（使用比率は増加傾向にあるものの、未だ健保組合全体よりも低く、伸びしろが見込まれる。）	5
	2,5	広報誌「健保ガイド」	健康保険制度及び健康保険組合の事業内容の紹介	全て	男女	18～74	被保険者	1,753	4月に各事業所に送付し、被保険者全員に配布。 12,300部作成	ホームページを閲覧できない加入者に対する情報発信として有効だった。 健保組合の制度等についての問合せに対して、「健保ガイド」に沿って説明を行うことにより、比較的容易に相手方に理解してもらうことができた。	特になし	5
	2,5	広報紙「みんなのけんぽ」	各種の健保組合の活動状況や事業内容の周知、健康意識の醸成	全て	男女	0～74	加入者全員	2,612	年4回（4月、7月、10月、1月）に発行し、各事業所にて全被保険者に配布した。なお、任意継続加入者については、組合から直送した。	特になし	【課題】家族を含めた購読率の向上	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	2,5	組合ホームページ	各種の健康保険組合の活動状況や事業内容の周知、健康意識の醸成	全て	男女	0～74	加入者全員	138	随時コンテンツを更新中 月平均アクセス数 53,646回 構成の陳腐化やコンテンツ更新遅延を解消するため、ホームページのリニューアル（R5.4）に先立ち、外部委託先管理の保管サーバーに移設のうえ、管理運用についても外部委託にすることとした。	特になし	特になし	1
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健康診査〔本人〕	・メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防と改善 ・40歳以上被保険者の健康維持	全て	男女	40～74	被保険者		年1回 0 実施者数：5,177名〔4,987名〕 実施率：95.2%〔94.8%〕	昨年に引き続き、健診結果を早期提出した場合の事業所における健診補助申請手続きを簡素化したことから、比較的早い時期に健診結果を整理することができた。	特になし	5
	3	特定健康診査〔家族等〕	・メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防と改善 ・40歳以上被扶養者の健康維持	全て	男女	40～74	被扶養者,任意継続者	1,215	実施者数：156名〔145名〕 実施率：22.0%〔20.7%〕	特になし	【課題】実施率の向上 【阻害要因】特定健診受診の必要性について、周知が浸透していない。	3
特定保健指導事業	4	特定保健指導	糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群の減少（疾病の予防）	全て	男女	40～74	基準該当者	2,820	①積極的支援 対象者数：340名〔337名〕 終了者数：61名〔56名〕 ②動機付け支援 対象者数：461名〔456名〕 終了者数：81名〔94名〕 ③実施率：17.7%〔18.9%〕	自施設で特定保健指導が実施できる母体協会内各施設における実施体制の構築が進んだ。	【課題】利用率の向上 【阻害要因】制度自体の認識は定着しつつも、対象者において、特定保健指導に対して消極的なイメージを持ち、利用を拒んでいる者が多い。 前年度利用者のうち、今年度も対象となった者については、2年連続の利用に結びつかない傾向にある。 新型コロナウイルス感染拡大を理由に利用を躊躇する例が見えられた。	1
疾病予防	3	生活習慣病予防健診〔本人〕	生活習慣病（がんを含む）等の疾病の早期発見	全て	男女	35～74	被保険者	48,316	①基本検査 受診者数/対象者数：6,191/6,990名〔5,673/6,852名〕 実施率：88.6%〔82.8%〕 ②子宮がん検査 受診者数/対象者数：952/4,905名〔855/4,829名〕 実施率：19.4%〔17.7%〕 ③乳がん検査 受診者数/対象者数：472/2,066名〔393/1,946名〕 実施率：22.8%〔20.2%〕	昨年に引き続き、健診結果を早期提出した場合の事業所における健診補助申請手続きを簡素化したことから、比較的早い時期に健診結果を整理することができた。	特になし	3
	3	生活習慣病予防健診〔家族等〕	生活習慣病（がんを含む）等の疾病の早期発見	全て	男女	35～74	被扶養者,任意継続者	1,260	①基本検査 受診者数/対象者数：52/886名〔62/900名〕 実施率：5.9%〔6.9%〕 ②子宮がん検査 受診者数/対象者数：21/788名〔27/807名〕 実施率：2.7%〔3.3%〕 ③乳がん検査 受診者数/対象者数：8/354名〔21/337名〕 実施率：2.3%〔6.2%〕	特定健診受診券送付時に案内文書を送付することにより、該当の被扶養者等に制度の理解と生活習慣病予防健診事業に対する関心を持ってもらうことができた。	【課題】実施率の向上 【阻害要因】事業内容や利用方法等についての周知が浸透していない。	2

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3,4	重症化予防プログラム	糖尿病又は高血圧症に伴う人工透析等の重症化予防	全て	男女	0～74	基準該当者	552	①DM性腎症 評価完了者数/登録者数：2/6名〔2/0名〕 ②高血圧 評価完了者数/登録者数：0/2名〔3/0名〕 ③糖尿病 評価完了者数/登録者数：3/7名〔3/0名〕	特定保健指導と同じタイミングで利用案内を行うことにより、従前より早く申込みを集計することができた。	【課題】実施率の向上 【阻害要因】対象者における事業に対する理解不足、及び訪問受入れ率の停滞。加入者全般に対する周知徹底不足による受入れ辞退。	3
	3	インフルエンザ予防接種の一部補助	インフルエンザ罹患に伴う医療費の抑制	全て	男女	0～74	加入者全員	25,927	①本人 接種者数/対象者数：9,561/10,547名〔9,457/10,430名〕 実施率：90.7%〔90.7%〕 ②家族 接種者数/対象者数：1,084/5,271名〔1,191/5,362名〕 実施率：20.6%〔22.2%〕	家族については、平成29年度より、補助対象とする予防接種を受ける医療機関をJADECOM施設以外に拡大したことにより、高い利用件数を維持している。	特になし	5
	5,6	EAPサービス（こころの相談）	・メンタル不調に伴う休職者の削減 ・メンタル疾患に係る有病者数・医療費の減	全て	男女	0～74	加入者全員	660	電話相談件数（回数） 15件（21回）〔16件（34回）〕	特になし	【課題】傷病手当金の支給に占めるメンタル疾患の比率が多い割りに、本事業に利用実績が少ない。	4
	5	禁煙外来の一部補助	喫煙が原因となる生活習慣病の予防	一部の事業所	男女	20～74	被保険者	0	終了者数：0名〔1名〕	特になし	【課題】利用者数の増加の伸び悩み 【阻害要因】喫煙者自身が禁煙に消極的な場合が多く、今後、事業所と連携した禁煙促進のための環境づくりの検討が必要。	1
	3	歯科健診	・歯周疾患の早期発見 ・歯周疾患に係る有病者数・医療費の減	全て	男女	0～74	加入者全員	176	利用者数：1名〔6名〕	特になし	特になし	1
予算措置なし	6	健康相談	今後、他の事業所についても対象を拡大していく。	一部の事業所	男女	18～（上限なし）	被保険者	0	実施者数：1名〔2名〕	特になし	【課題】受診者数の低迷 【阻害要因】新規導入のため。加入者全体に周知が行き届いていない。	1

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

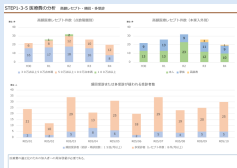
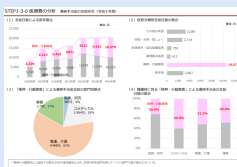
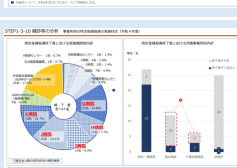
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	労働安全衛生法に基づく定期健康診査	被保険者	男女	18 ～ 74	各事業所において実施時期が異なるが、ほぼ100%に近い実施率が実現できている。	自施設が医療機関であるため	医療職のため、自己診断（判断）により受診しない者がいる。	有
QFT検査（クオンティフェロン[QuantiFERON]検査）	採用時の結核感染の有無を測定しておくことにより、当該感染症を発症した際に、業務中の感染によるものか否かを判断するための指標とするため、医療従事者の雇入れ健診において実施	被保険者	男女	18 ～ 74	各事業所において随時実施	自施設が医療機関であるため	-	無
各種感染症検査（麻しん、風しん、水痘、ムンプス等）	採用時の各種感染症（麻しん、風しん、水痘、ムンプス、B型肝炎）の感染有無を測定しておくことにより、当該感染症を発症した際に、業務中の感染によるものか否かを判断するための指標とするため、医療従事者の雇入れ健診において実施	被保険者	男女	18 ～ 74	各事業所において随時実施	自施設が医療機関であるため	-	無
インフルエンザ予防接種	医療従事者としてインフルエンザの罹患を予防するため	被保険者 被扶養者	男女	0 ～ 74	院内感染防止の観点から、被保険者については、ほぼ全員実施している。 また、家庭内での感染防止のため、家族（被扶養者）も対象として実施している事業所がある。	自施設が医療機関であるため	自己の経験等から効果を信頼しない者もあり、接種は自己の決定に任せている。	有
B型肝炎ワクチン接種	針刺し事故等による感染防止	被保険者	男女	18 ～ 74	各事業所において随時実施	自施設が医療機関であるため	任意の接種	無
各種感染予防接種（麻しん、風しん、水痘、ムンプス等）	職員を感染から守ると同時に患者への二次感染を防ぐため、抗体価が陰性の場合に接種。	被保険者	男女	18 ～ 74	各事業所において随時実施	自施設が医療機関であるため	-	無
ストレスチェック	職員自身のストレスへの気付き及びその対処支援、並びに職場環境の改善を通じてメンタル不調を未然に防止する。	被保険者	男女	18 ～ 74	事業主で一括契約し、各事業所で随時実施している。	受検しやすい検査方法で実施した。自施設が医療機関であるため医師への相談体制を構築できた。	自分は大丈夫と自己判断で受検しない者がいる。また、個人情報が増えることを心配して受検しない者がいる。	無
メンタルヘルスマネジメント研修	【目的】メンタル疾患を原因とする休職者増に伴う職場内生産性低下の抑止 【実施方法】職員（被保険者）におけるメンタル疾患早期発見を目的として、各部門の管理監督者を対象として、①メンタル疾患に陥りやすい性格の人物の傾向、②メンタル疾患となった場合の見逃しやすい初期症状等のテーマを中心として、外部から講師を招聘し、オンラインで2回に分けて研修会を開催する。 【実施体制】事業主との共同開催として、費用は折半。	被保険者	男女	18 ～ 74	1回目 開催日：R4.5.13 講師等：岩崎きよみ（東京北医療センター） 参加人数：当日229名、オンデマンド11名（重複あり） 2回目4.9.16 講師等：大山寧々（日本赤十字社医療センター） 参加人数：当日193名、オンデマンド19名（重複あり）	特になし	特になし	有

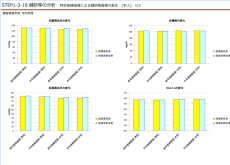
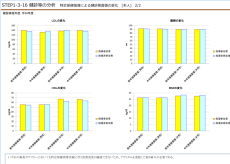
STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

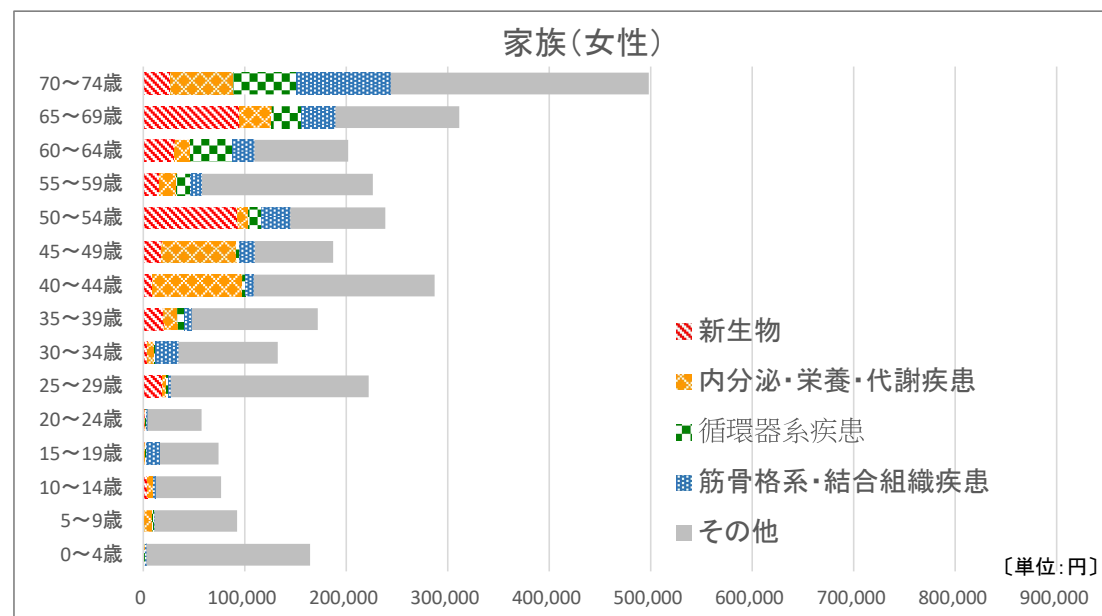
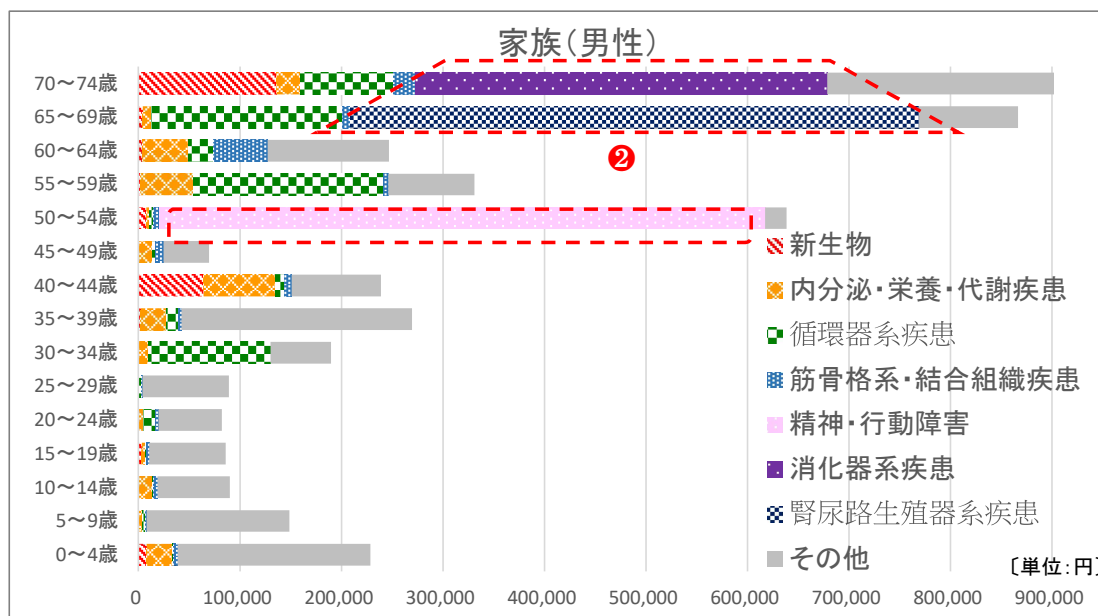
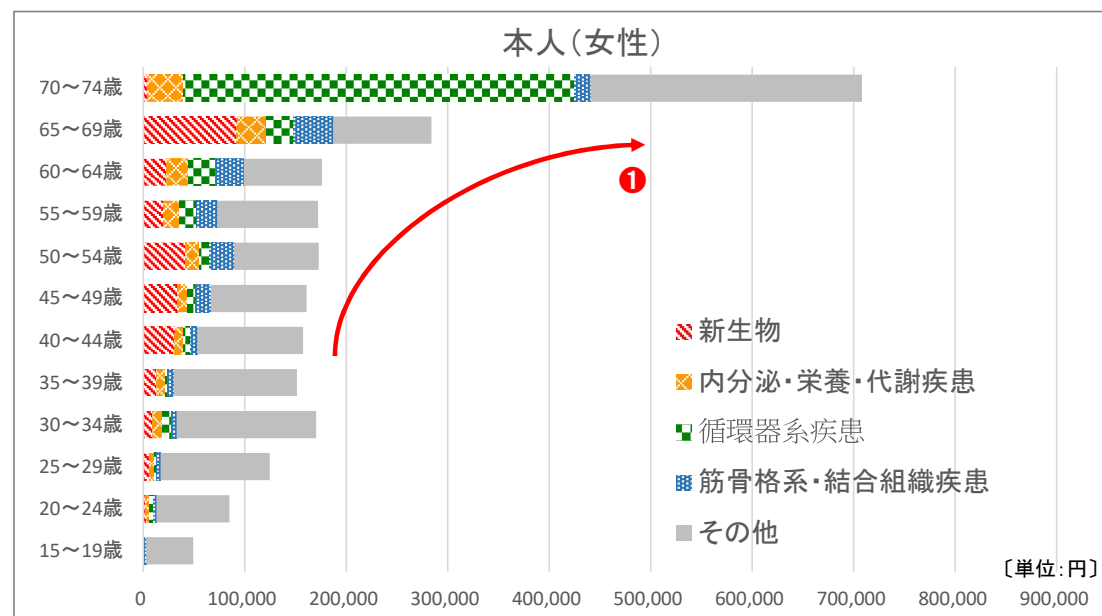
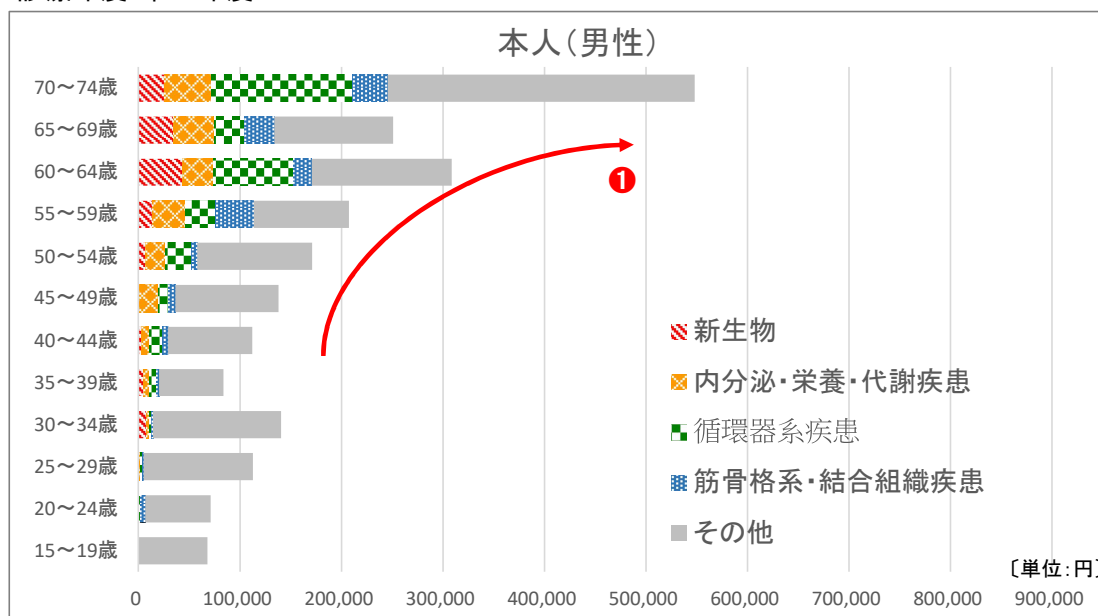
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		1-3-1 医療費の分析 疾患分類別・年齢階層別 1人当たり医療費	医療費・患者数分析	-
イ		1-3-2 医療費の分析 1人当たり医療費における他健保組合との比較	医療費・患者数分析	-
ウ		1-3-3-1 医療費の分析 特定疾患別有病者数・医療費[本人/男女計] 1/3	医療費・患者数分析	-
エ		1-3-3-2 医療費の分析 特定疾患別有病者数・医療費[本人/男女計] 2/3	医療費・患者数分析	-
オ		1-3-3-3 医療費の分析 特定疾患別有病者数・医療費[本人/男女計] 3/3	医療費・患者数分析	-
カ		1-3-4 医療費の分析 生活習慣病医療費の経年変化[男女計]	医療費・患者数分析	-

キ		1-3-5 医療費の分析 高額レセプト・頻回・多受診	医療費・患者数分析	-
ク		1-3-6 医療費の分析 傷病手当金の支給状況（令和4年度）	医療費・患者数分析	-
ケ		1-3-7 調剤の分析 1人1月あたり調剤費と後発医薬品使用割合の月別推移	後発医薬品分析	-
コ		1-3-8 調剤の分析 事業所別後発医薬品使用割合 1/2	後発医薬品分析	-
サ		1-3-8 調剤の分析 事業所別後発医薬品使用割合 2/2	後発医薬品分析	-
シ		1-3-9 健診等の分析 特定健診・特定保健指導における実施結果の推移	特定健診分析	-
ス		1-3-10 健診等の分析事業所別の特定保健指導の実施状況（令和4年度）	特定保健指導分析	-

セ		1-3-11 健診等の分析 生活習慣病予防健診（基本検査以外）における実施結果の推移[本人]	特定健診分析	-
ソ		1-3-12 健診等の分析健康分布図[本人/40歳以上]	健康リスク分析	-
タ		1-3-13 健診等の分析特定健診検査値の経年変化[本人/男女/40歳以上]	健康リスク分析	-
チ		1-3-14 健診等の分析疾患別リスクフローチャート[本人家族/男女/全年齢] 1/2	健康リスク分析	-
ツ		1-3-14 健診等の分析疾患別リスクフローチャート[本人家族/男女/全年齢] 2/2	健康リスク分析	-
テ		1-3-15 健診等の分析問診表の回答結果[本人/男性]	特定健診分析	-
ト		1-3-15 健診等の分析問診表の回答結果[本人/女性]	特定健診分析	-

ナ		1-3-16 健診等の分析特定保健指導による健診検査値の変化[本人] 1/2	特定保健指導分析	-
二		1-3-16 健診等の分析特定保健指導による健診検査値の変化[本人] 2/2	特定保健指導分析	-

診療年度: 令04年度



- ① 本人については、男女とも40歳以降の年齢階層に比例して、一人当たり医療費が増加傾向にあり、各年齢階層に共通して、生活習慣病(新生物、内分泌・栄養・代謝疾患、循環器系疾患)が全体に占める割合が顕著である。
- ② 一人当たり医療費額は、総じて本人より家族の方が多い。家族(男性)については、加入者数が少ない半面で一部加入者において特定の疾患における医療費支出が突出しているため、年齢階層別分布において規則性が見られない。

2 1人あたり医療費における他健保組合との比較



診療年度: 令04年度

分析(25年度対応) > 医療費・疾病分析 > 傷病(特定疾患)別 有病者数
分析(25年度対応) > 医療費・疾病分析 > 傷病(特定疾患)別 医療費

生活習慣病		延べ 有病 者数	医療費総額	1人当たり医療費			受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
				参考					
				全組合	医療福祉				
		人	円	円	円	円		日	円
糖尿病		② 3,858	43,432,140	① 4,026	7,286	5,170	372.27	1.47	7,338
再掲	インスリン治療	370	14,019,950	1,300	1,654	1,403	34.30	1.27	29,830
	腎障害	130	129,440	12	49	27	12.05	1.23	809
	網膜症	153	350,280	32	119	71	14.28	1.48	1,536
	神経障害	34	71,490	7	14	10	3.15	2.26	928
脳血管疾患		282	8,569,510	794	1,140	951	26.51	2.12	14,141
虚血性心疾患		845	8,522,780	790	1,211	849	82.04	2.01	4,788
動脈閉塞		② 6	2,810	0	2	1	0.56	2.00	234
高血圧症		② 6,212	32,158,640	2,981	4,851	3,902	590.47	1.39	3,635
高尿酸血症		② 932	2,349,470	218	580	260	88.62	1.70	1,449
高脂血症		② 5,450	20,782,320	1,926	3,355	2,682	514.46	1.39	2,686
肝機能障害		557	530,770	49	123	73	51.63	1.34	712
高血圧性腎臓障害		19	18,430	2	3	4	1.76	1.21	801
人工透析		32	13,318,780	1,235	2,994	2,294	3.06	13.27	30,408
再掲	糖尿病	8	473,320	44	157	108	0.83	13.33	3,944
	高血圧症	32	1,406,470	130	472	347	3.06	13.27	3,211

循環器疾患	延べ 有病 者数	医療費総額	1人当たり医療費			受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
			参考					
			全組合	医療福祉				
	人	円	円	円	円	日	円	
高血圧性疾患	6,265	33,825,810	3,136	5,335	4,261	595.85	1.46	3,613
虚血性心疾患	1,065	11,564,100	1,072	1,764	1,229	104.10	1.89	5,434
肺性心疾患・肺循環	67	613,840	57	416	549	6.77	1.99	4,233
その他の心疾患	1,838	39,829,400	3,692	4,124	3,472	183.35	1.75	11,538
脳血管疾患	753	13,978,980	1,296	2,689	2,419	72.86	1.63	10,904
動脈、細動脈、毛細血管	468	12,233,820	1,134	702	597	44.49	2.16	11,775
静脈、リンパ管、リンパ節	464	5,756,850	534	406	508	43.47	2.28	5,385
その他循環器系	25	957,820	89	13	16	2.32	1.52	25,206

生活習慣病

- ①他組合と比較すると、1人当たり医療費は低い傾向にある。
- ②有病者数及び医療費の双方において、生活習慣病のうちの糖尿病、高血圧症、高脂血症がその約半分以上を占めている。

これら疾病は、重症化により透析に移行する可能性があり、加入者の高年齢化により重症化リスクが高まることから、重症化予防が喫緊の課題である。

循環器疾患

- ①他組合と比較すると、1人当たり医療費は低い傾向にある。

診療年度: 令04年度

分析(25年度対応) > 医療費・疾病分析 > 傷病(特定疾患)別 有病者数
分析(25年度対応) > 医療費・疾病分析 > 傷病(特定疾患)別 医療費

悪性新生物	延べ 有病 者数	医療費総額	1人当たり医療費			受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
			参考					
			全組合	医療福祉				
	人	円	円	円	円	日	円	
口唇・口腔・咽頭	26	90,970	8	207	110	2.41	1.77	1,978
消化器	1,192	37,413,880	3,468	4,107	3,407	114.20	1.73	17,508
呼吸器・胸腔内臓	205	3,702,780	343	1,577	1,263	19.93	1.83	9,422
骨・関節軟骨	9	6,140	1	27	22	0.83	1.00	682
皮　　膚	41	328,790	30	137	127	3.80	2.24	3,574
中皮・軟部組織	7	42,370	4	95	66	0.65	1.71	3,531
乳　　房	519	47,884,300	4,439	2,044	3,661	52.28	1.85	45,998
女性生殖器	833	20,791,230	1,927	905	1,937	79.81	1.77	13,607
男性生殖器	138	4,440,130	412	975	603	13.53	1.55	19,647
腎尿路	162	1,486,500	138	643	426	15.67	1.86	4,719
眼、脳・中枢神経	19	129,510	12	204	160	1.85	1.45	4,466
甲状腺・内分泌腺	172	3,273,280	303	199	277	16.13	1.39	13,526

悪性新生物

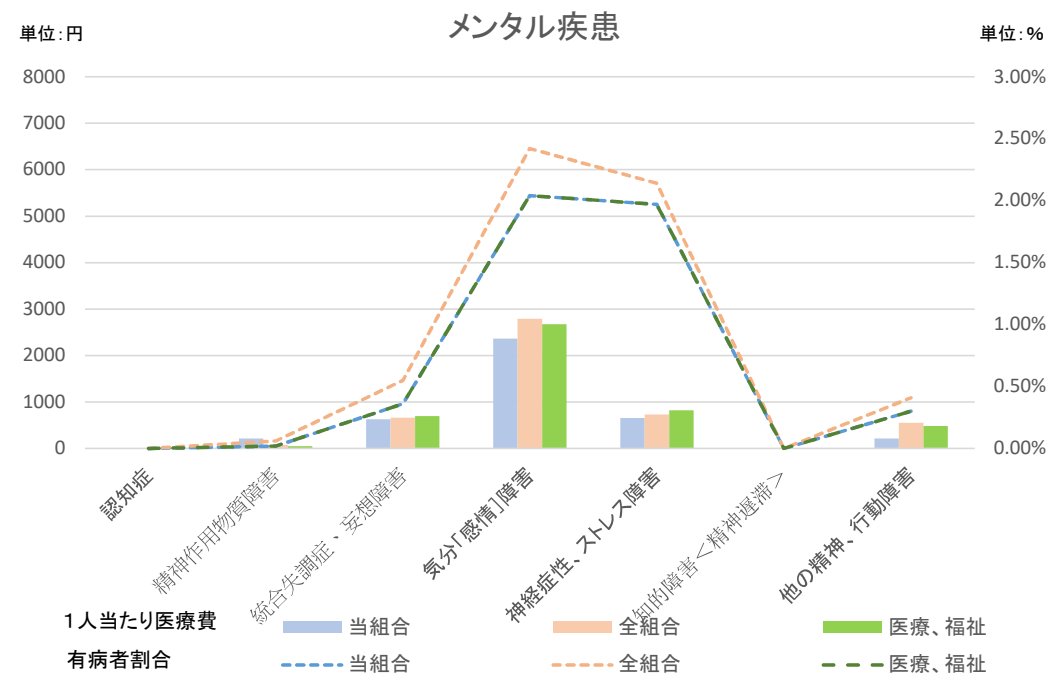
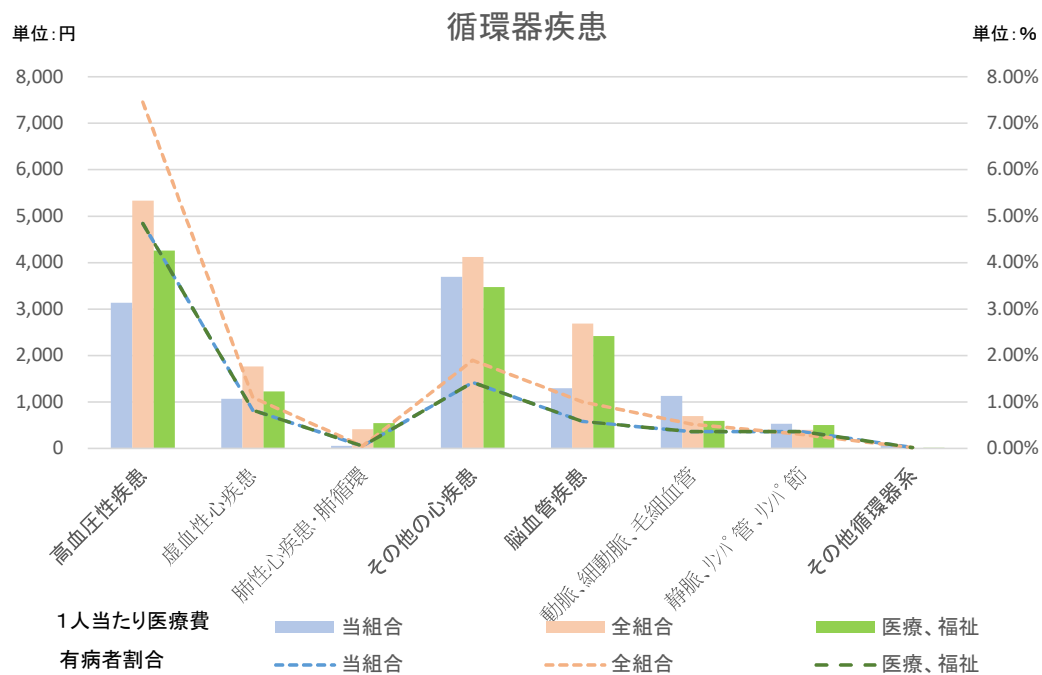
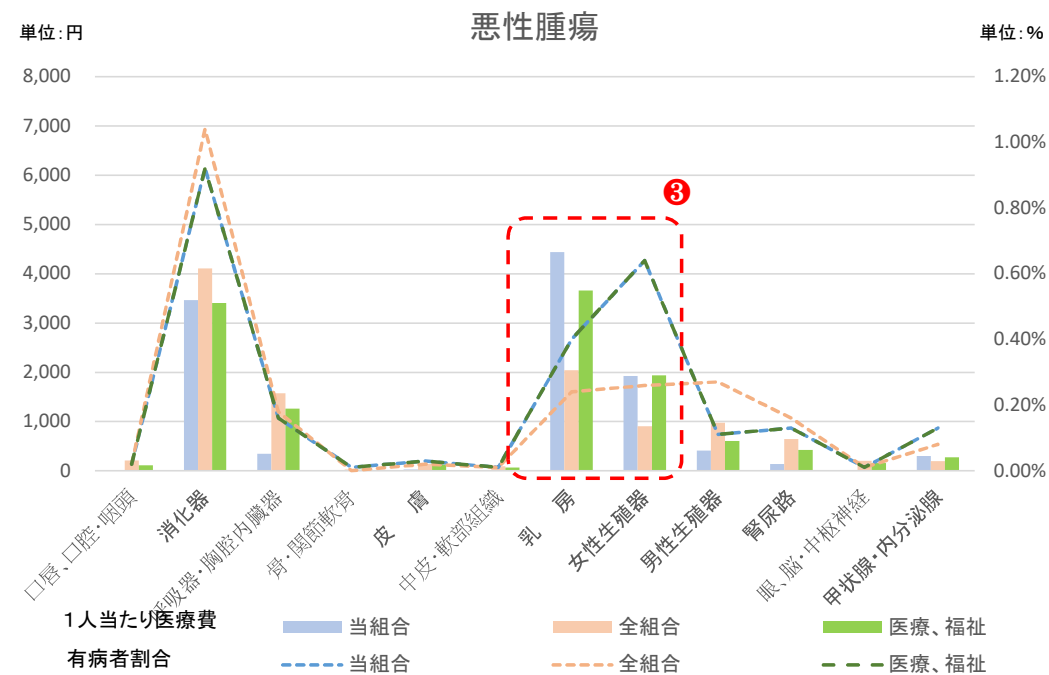
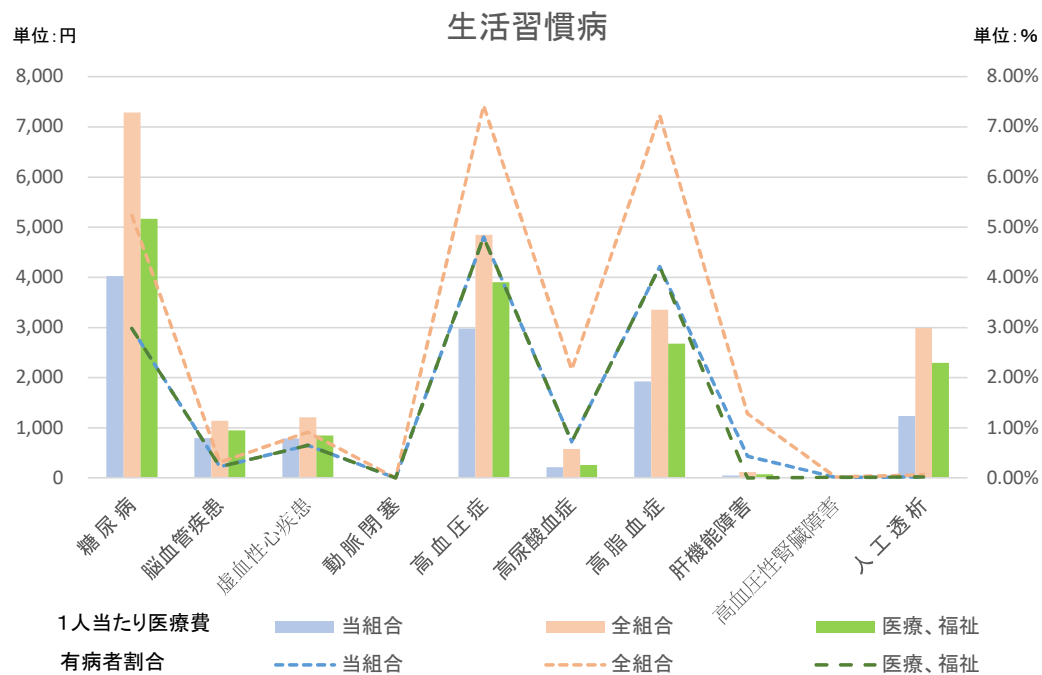
③ 女性に由来するがん(乳房、女性生殖器)において、有病者数・医療費ともに比率が高く、また、1人当たり医療費は全組合平均の2倍以上となっている。

メンタル疾患	延べ 有病 者数	医療費総額	1人当たり医療費			受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
				参考				
				全組合	医療福祉			
	人	円	円	円	円		日	円
アルツハイマー、認知症	3	32,010	3	3	2	0.28	1.67	6,402
精神作用物質による障害	30	2,337,160	217	80	52	2.87	4.61	16,344
統合失調症、妄想障害 ④	472	6,808,220	631	663	700	44.03	1.90	7,531
感情障害	2,641	25,538,770	2,367	2,792	2,674	248.52	1.52	6,255
神経症、ストレス障害	2,551	7,113,910	659	737	824	238.51	1.46	1,890
知的障害<精神遅滞>	1	5,460	1	2	1	0.09	3.00	1,820
その他の精神、行動障害	390	2,307,780	214	555	483	36.61	2.25	2,602

メンタル疾患

④ うつ病、不安神経症等の年間延べ有病者数は、5,192人と最も多く、傷病手当金の最も多い支給要因ともなっている。

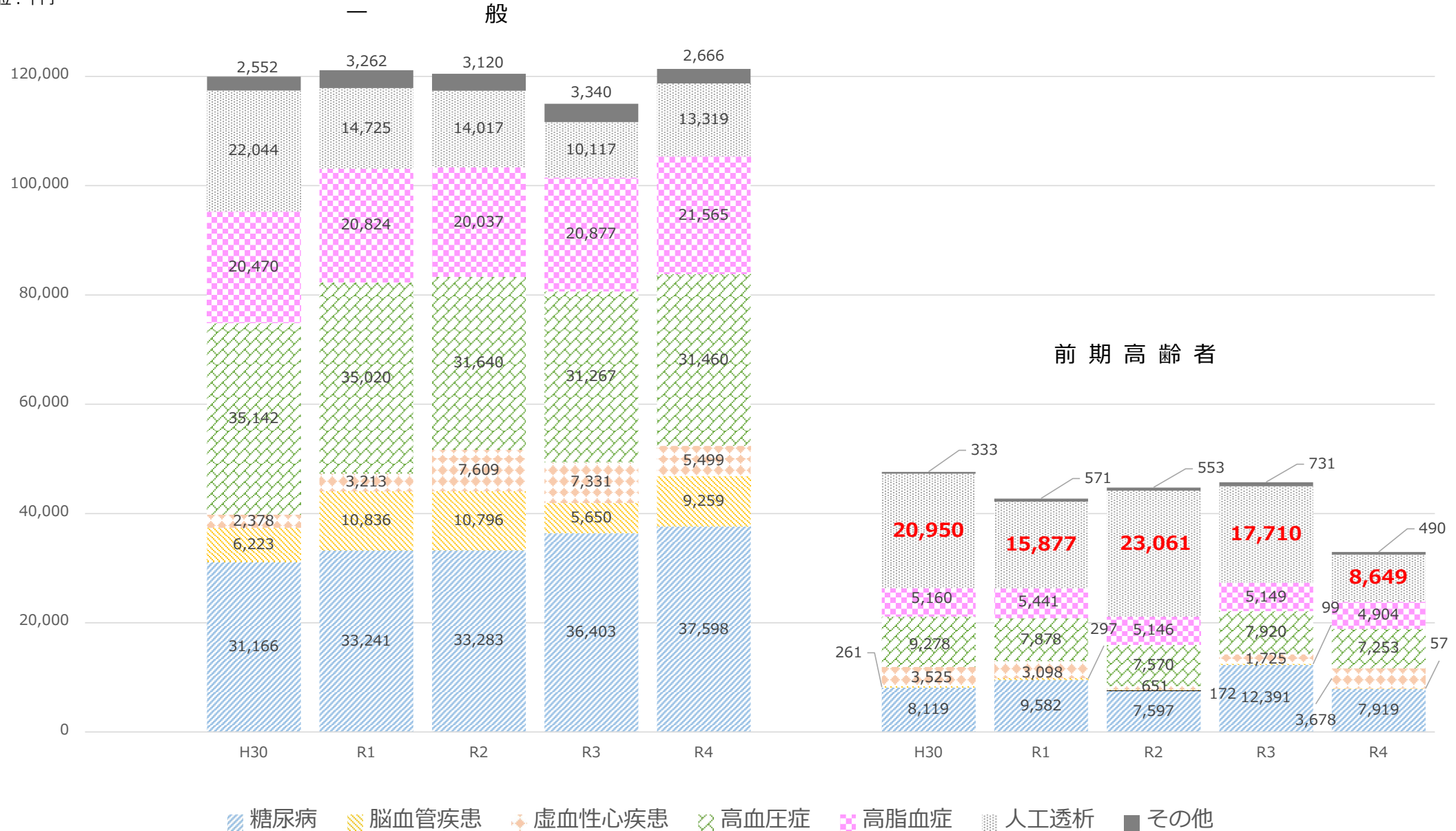
診療年度: 令04年度



STEP1-3-4 医療費の分析 生活習慣病医療費の経年変化 [男女計]

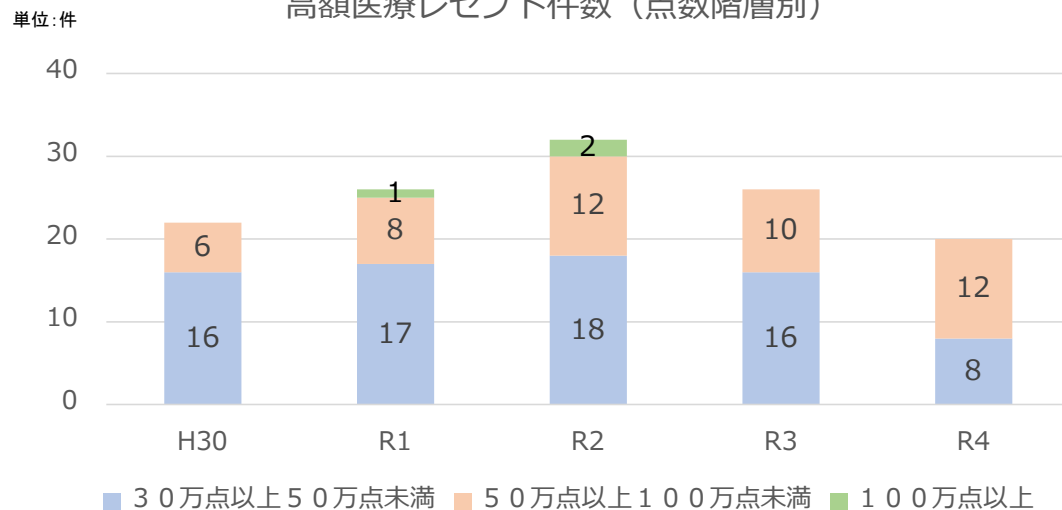
分析(平成25年度対応) > 共通基本分析 > 生活習慣病医療費の経年変化

単位：千円

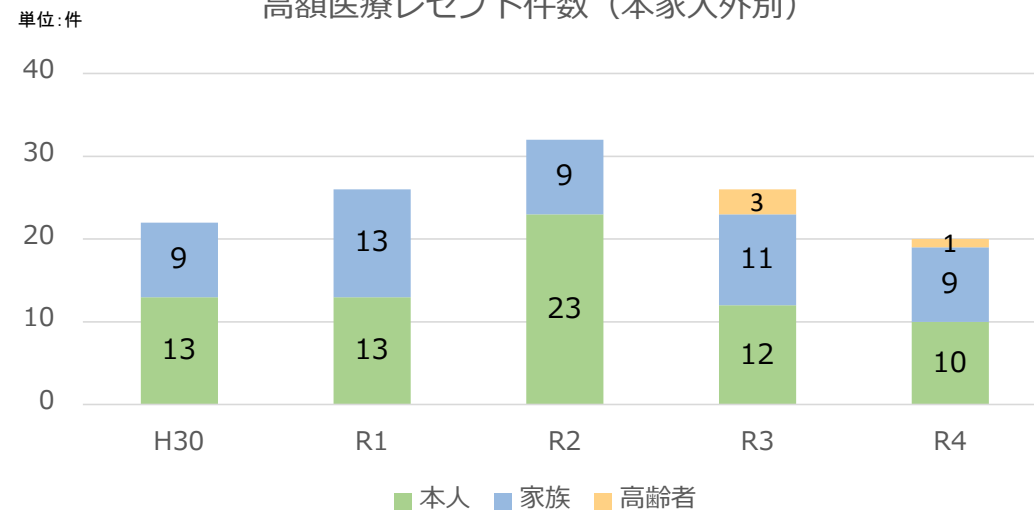


とりわけ前期高齢者においては、人工透析が占める医療費の割合が高い。

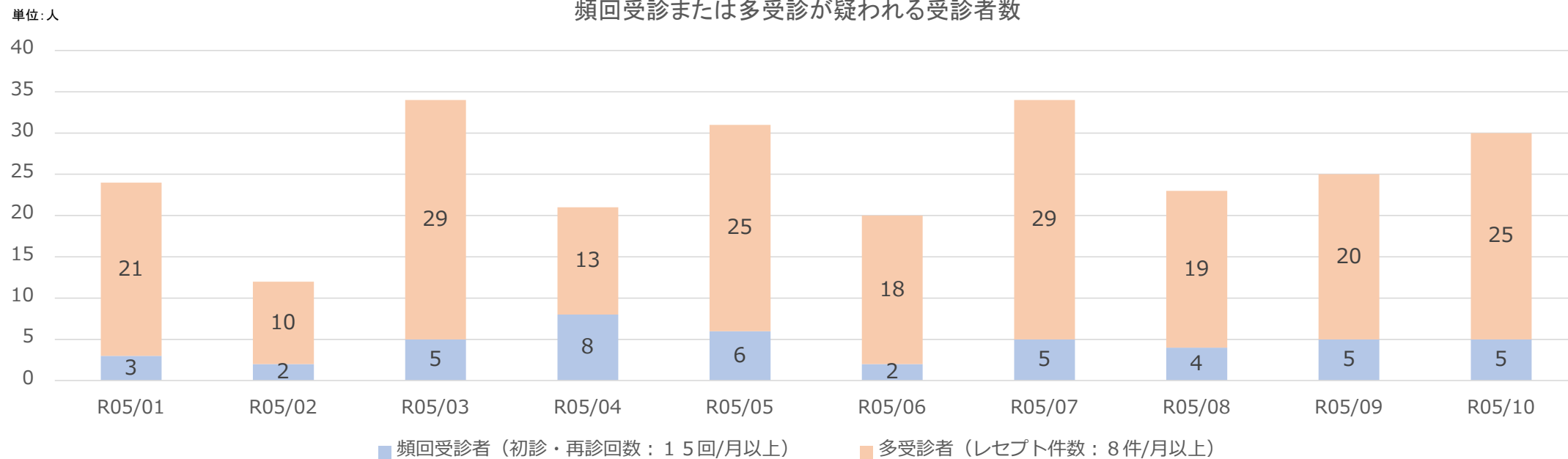
高額医療レセプト件数（点数階層別）



高額医療レセプト件数（本家入外別）

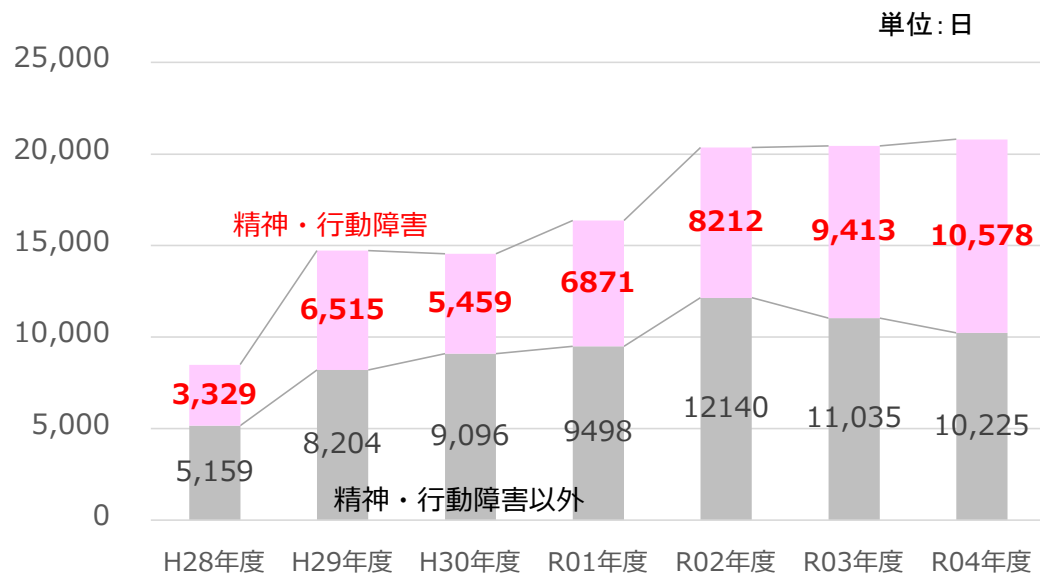


頻回受診または多受診が疑われる受診者数

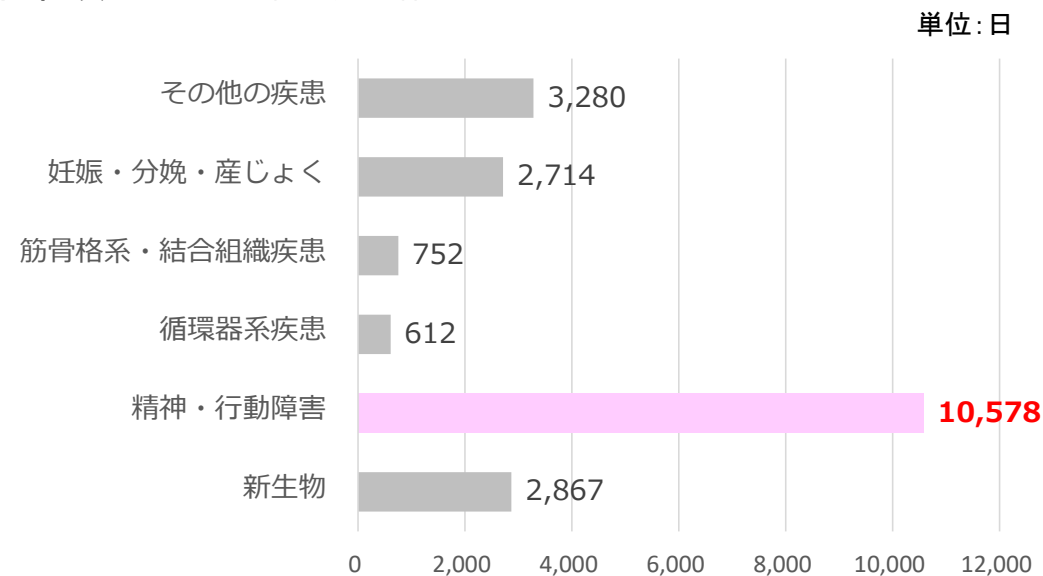


医療費の適正化のための加入者への周知啓蒙が必要である。

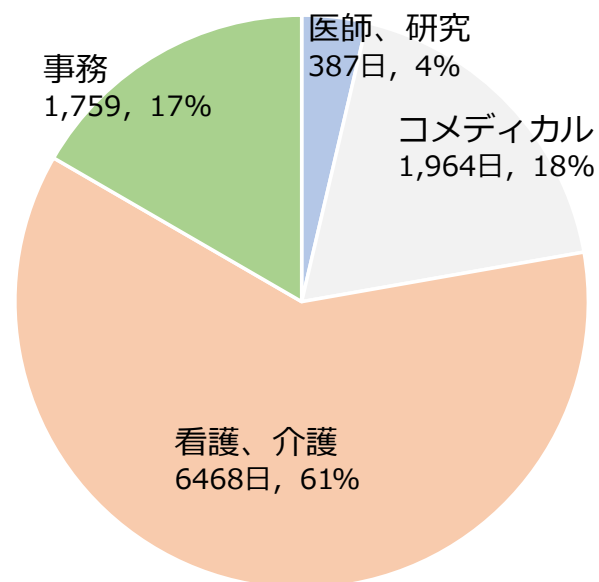
（１）支給日数による前年度比



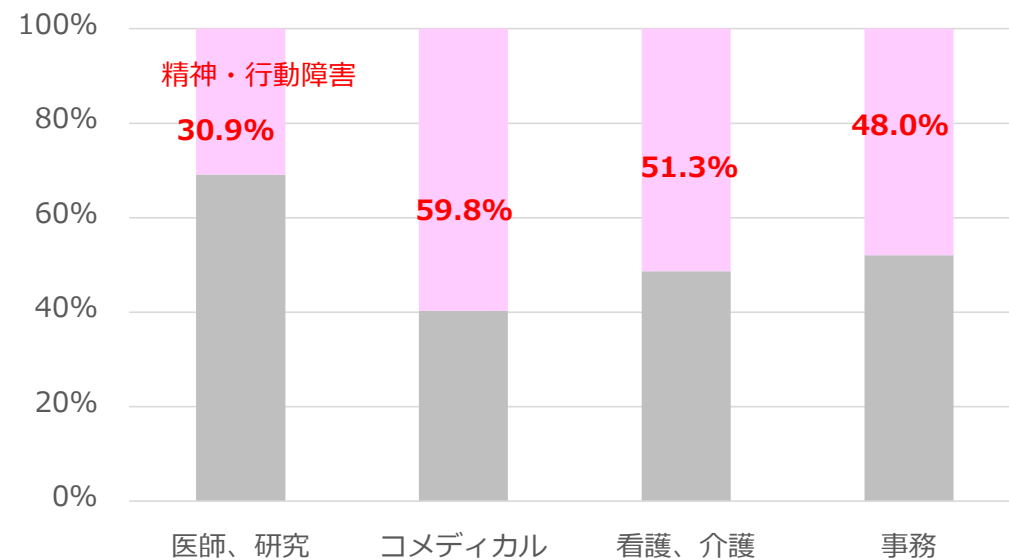
（２）疾患分類別支給日数の割合



（３）「精神・行動障害」による傷病手当金支給の部門別割合

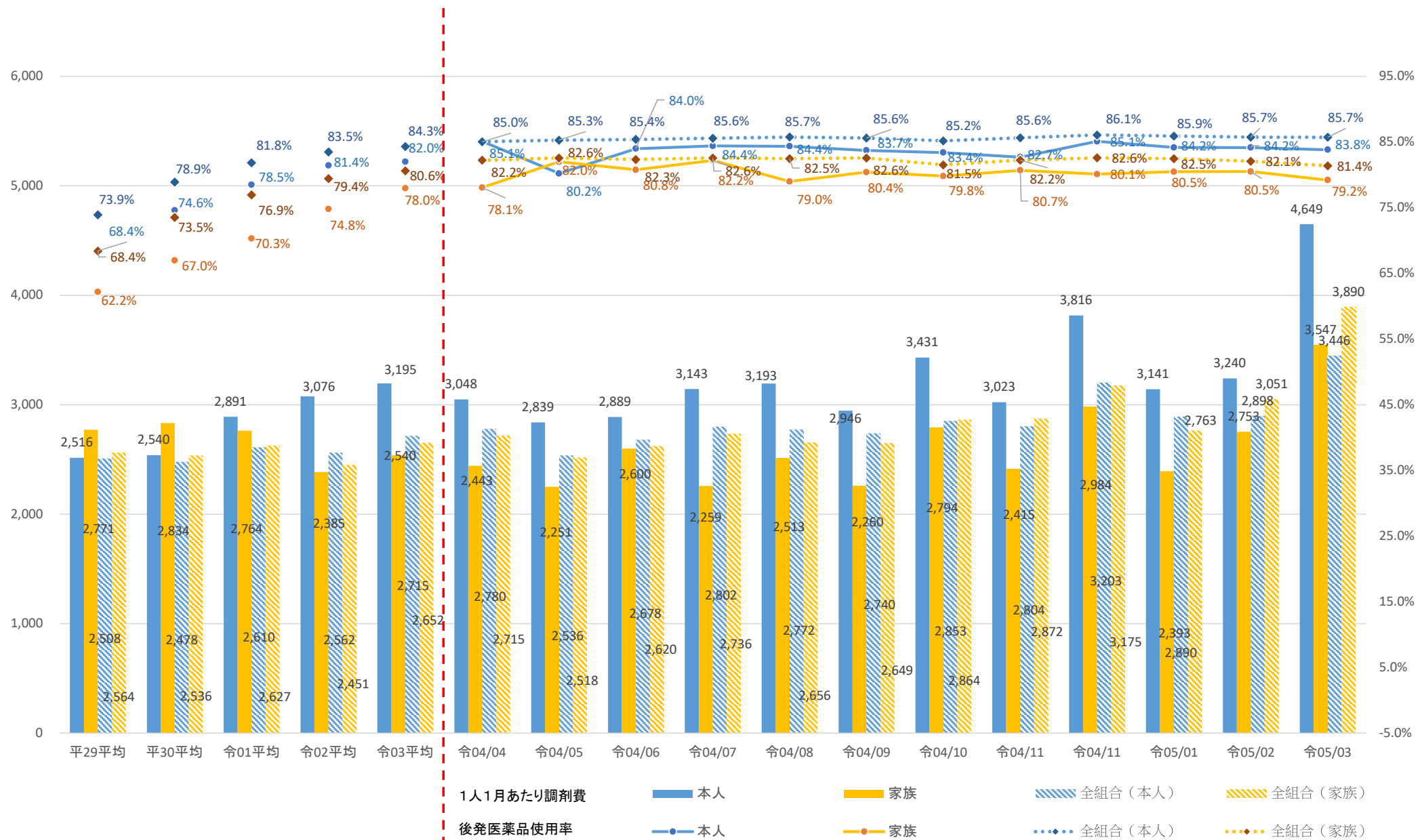


（４）職種別に見る「精神・行動障害」による傷病手当金の支給日数の割合



・「精神・行動障害」に起因する割合が近年増加傾向にあり、医師・研究部門を除くすべての部門で過半数を占めている。

分析(25年度対応) > 共通基本分析 > 調剤医薬品と後発医薬品使用率 全体集計比較 > 後発医薬品の使用割合



・1人あたり調剤費については、本人において全組合平均よりも高い傾向が伺えるものの、後発医薬品の使用率は、本人・家族とも向上しており、全組合平均との差が縮まりつつある。

本人		令04/04	令04/05	令04/06	令04/07	令04/08	令04/09	令04/10	令04/11	令04/12	令05/01	令05/02	令05/03
101	十勝いけだ地域医療センター	83.6%	29.1%	86.8%	92.3%	89.0%	90.6%	87.8%	90.7%	86.5%	90.6%	88.3%	90.0%
201	東通地域医療センター	81.7%	90.7%	86.7%	90.1%	87.2%	78.0%	72.8%	86.7%	67.1%	91.5%	89.4%	74.4%
202	六ヶ所村医療センター	75.2%	74.0%	73.3%	80.7%	58.8%	74.1%	71.1%	73.7%	77.6%	74.8%	87.8%	75.7%
401	公立黒川病院	84.1%	86.4%	78.5%	88.2%	76.9%	88.2%	82.0%	84.4%	80.1%	81.6%	80.2%	80.5%
402	女川町地域医療センター	79.6%	80.9%	72.9%	78.4%	78.6%	75.4%	72.2%	77.1%	84.4%	79.2%	82.4%	84.3%
403	介護老人保健施設 富谷の郷	86.7%	84.0%	82.2%	76.5%	96.8%	77.2%	72.7%	85.7%	79.4%	77.1%	93.4%	72.2%
701	磐梯町保健医療福祉センター	91.5%	97.1%	77.3%	87.4%	96.3%	87.5%	78.2%	93.3%	89.5%	90.6%	91.5%	92.5%
801	石岡第一病院	61.9%	68.1%	66.2%	64.5%	81.7%	65.0%	71.7%	76.3%	76.1%	66.2%	76.4%	79.7%
802	村立東海病院	86.0%	56.5%	74.9%	76.9%	85.6%	73.2%	75.5%	72.7%	85.1%	77.2%	75.6%	82.6%
901	日光市民病院	98.5%	49.5%	96.7%	93.7%	78.6%	88.4%	90.6%	82.0%	83.3%	91.7%	72.6%	95.5%
902	介護老人保健施設にっこう	76.2%	94.5%	97.9%	96.6%	63.6%	100.0%	91.9%	97.1%	97.8%	97.0%	100.0%	97.5%
1001	六合温泉医療センター	#N/A	#N/A	0.0%	100.0%	0.0%	#N/A	#N/A	0.0%	92.8%	0.0%	100.0%	0.0%
1002	西吾妻福祉病院	94.7%	73.6%	91.4%	84.3%	85.2%	85.3%	92.1%	83.4%	91.8%	95.6%	91.2%	79.9%
1101	公設宮代福祉医療センター	73.7%	54.8%	80.0%	44.6%	72.1%	61.7%	80.6%	58.9%	82.7%	75.7%	83.2%	64.0%
1201	東京ベイ・浦安市川医療センター	82.2%	81.4%	78.5%	78.7%	81.6%	80.0%	76.8%	82.0%	84.9%	81.4%	80.4%	83.1%
1202	介護老人保健施設市川ゆうゆう	84.9%	57.7%	56.4%	72.3%	64.1%	71.8%	55.9%	61.4%	61.0%	56.9%	65.7%	63.2%
1301	地域医療振興協会	85.3%	81.7%	84.3%	83.2%	89.5%	79.7%	84.6%	84.2%	89.3%	78.4%	80.6%	80.8%
1302	東京北医療センター	81.5%	80.9%	76.7%	82.8%	82.4%	82.9%	81.9%	81.4%	83.2%	78.4%	85.9%	81.5%
1304	台東区立台東病院	85.1%	93.2%	79.7%	88.0%	84.6%	80.8%	85.4%	78.2%	83.3%	78.0%	80.6%	75.2%
1305	練馬光が丘病院	75.8%	73.2%	81.3%	75.6%	81.2%	75.0%	77.1%	70.1%	78.3%	75.9%	75.9%	74.9%
1401	横須賀市立うわまち病院	84.2%	83.3%	86.7%	83.1%	85.0%	83.5%	88.1%	80.8%	88.8%	88.8%	92.7%	82.9%
1403	横須賀市立市民病院	80.0%	79.8%	75.5%	82.3%	71.2%	79.5%	77.3%	77.7%	76.9%	82.0%	73.1%	83.2%
1501	湯沢町保健医療センター	86.4%	83.8%	79.0%	87.3%	89.8%	73.8%	88.5%	85.7%	82.1%	76.5%	92.8%	75.6%
1701	加賀地域医療支援センター	100.0%	75.4%	100.0%	76.7%	100.0%	84.4%	100.0%	82.7%	100.0%	86.2%	100.0%	87.6%
1801	公立丹南病院	90.1%	77.1%	82.9%	82.9%	82.3%	83.0%	80.7%	80.6%	78.4%	81.8%	86.3%	85.9%
1802	おおい町保健・医療・福祉総合施設	60.5%	74.3%	93.9%	87.7%	82.4%	79.7%	70.2%	64.7%	59.6%	59.0%	74.2%	65.4%
1803	越前町国民健康保険織田病院	88.2%	92.2%	91.2%	98.2%	93.2%	91.2%	87.3%	84.8%	94.7%	86.5%	79.6%	86.8%
1901	上野原市立病院	86.7%	68.9%	69.3%	81.4%	70.4%	71.7%	80.2%	76.0%	72.7%	78.3%	80.0%	66.8%
2101	揖斐郡北西部地域医療センター	80.1%	72.5%	78.9%	87.8%	71.6%	90.7%	82.8%	87.2%	93.9%	85.9%	83.0%	82.1%
2103	市立恵那病院	76.6%	78.9%	76.9%	82.4%	73.8%	78.0%	75.9%	72.9%	79.8%	82.2%	78.5%	85.4%
2107	恵那市介護老人保健施設ひまわり	76.0%	86.0%	79.1%	91.9%	86.4%	69.1%	92.1%	84.9%	89.0%	78.5%	95.0%	92.0%
2203	伊東市民病院	77.0%	77.1%	77.2%	82.2%	74.1%	76.3%	84.2%	76.4%	81.2%	82.6%	79.0%	82.5%
2205	伊東市介護老人保健施設みはらし	35.8%	82.3%	60.3%	42.1%	68.8%	70.6%	58.7%	76.7%	80.7%	49.8%	89.0%	61.1%
2206	伊豆今井浜病院	69.2%	71.7%	67.8%	58.1%	69.3%	74.8%	64.1%	68.4%	85.2%	65.7%	73.4%	72.9%
2301	あま市民病院	81.7%	69.5%	75.0%	77.4%	70.7%	78.8%	76.1%	75.9%	83.0%	79.0%	79.5%	82.6%
2401	志摩地域医療福祉センター	62.3%	77.4%	82.5%	69.9%	79.6%	79.1%	79.2%	87.0%	72.9%	80.3%	68.7%	71.7%
2402	三重県立志摩病院	79.0%	83.5%	83.5%	82.6%	82.9%	82.5%	82.5%	75.7%	82.1%	85.4%	82.9%	77.6%
2501	地域包括ケアセンターいぶき	80.4%	85.6%	84.1%	81.2%	57.0%	81.8%	86.9%	86.9%	90.9%	89.3%	82.5%	88.8%
2503	米原市地域包括医療福祉センター	80.2%	86.4%	91.7%	76.9%	89.2%	90.1%	85.3%	87.0%	87.0%	91.5%	88.8%	87.7%
2901	市立奈良病院	85.7%	75.9%	79.2%	80.8%	77.3%	77.2%	82.3%	80.9%	77.2%	81.5%	76.1%	82.9%
4001	飯塚市立病院	83.9%	63.6%	86.8%	86.8%	76.4%	83.5%	80.0%	82.0%	81.3%	88.1%	82.3%	88.1%
4201	市立大村市民病院	82.2%	81.0%	79.8%	70.6%	79.5%	77.9%	73.6%	79.4%	76.5%	74.9%	73.9%	81.8%
4701	沖縄地域医療支援センター	92.1%	96.1%	80.4%	87.0%	81.3%	51.7%	84.2%	100.0%	85.5%	100.0%	77.7%	100.0%
4702	公立久米島病院	95.5%	88.5%	81.3%	82.4%	93.8%	89.0%	86.2%	82.4%	85.9%	91.3%	88.2%	86.7%
	全体集計/本人	85.1%	80.2%	84.0%	84.4%	84.4%	83.7%	83.4%	82.7%	85.1%	84.2%	84.2%	83.8%
	全体集計/全組合(本人)	85.0%	85.3%	85.4%	85.6%	85.7%	85.6%	85.2%	85.6%	86.1%	85.9%	85.7%	85.7%

全組合平均を上回っている

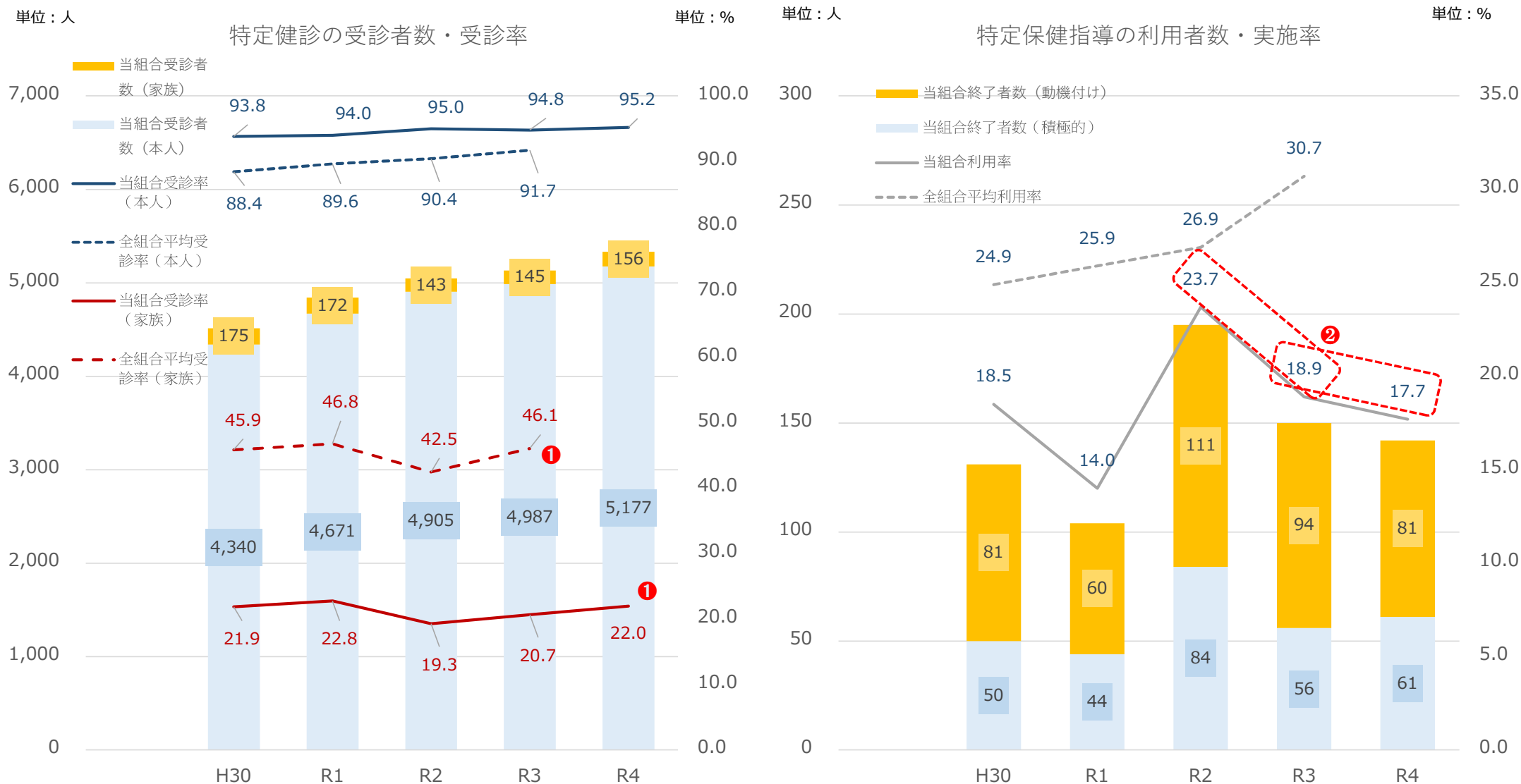
当組合平均ほ上回っている

家族		令04/04	令04/05	令04/06	令04/07	令04/08	令04/09	令04/10	令04/11	令04/12	令05/01	令05/02	令05/03
101	十勝いけだ地域医療センター	83.2%	84.8%	82.3%	78.8%	73.8%	85.9%	87.5%	85.5%	91.0%	95.9%	79.6%	95.2%
201	東通地域医療センター	82.1%	95.6%	85.2%	54.9%	77.8%	83.9%	50.8%	34.8%	47.5%	67.5%	58.6%	60.0%
202	六ヶ所村医療センター	55.8%	82.7%	81.0%	59.1%	97.6%	50.6%	78.1%	84.3%	83.1%	76.6%	83.3%	76.9%
401	公立黒川病院	90.9%	91.8%	83.5%	89.8%	81.7%	93.9%	87.4%	89.6%	89.8%	88.5%	93.1%	92.4%
402	女川町地域医療センター	99.1%	95.7%	99.1%	100.0%	100.0%	96.7%	97.7%	93.1%	96.4%	95.3%	99.4%	98.7%
403	介護老人保健施設 富谷の郷	91.8%	92.5%	84.6%	90.6%	82.0%	89.7%	87.0%	92.4%	93.1%	89.4%	90.7%	85.6%
701	磐梯町保健医療福祉センター	84.6%	81.0%	75.9%	70.9%	73.9%	73.5%	71.1%	77.9%	77.6%	83.0%	86.8%	71.5%
801	石岡第一病院	76.5%	62.2%	81.2%	62.7%	72.1%	88.2%	78.6%	75.9%	72.1%	75.5%	82.5%	77.0%
802	村立東海病院	49.6%	63.3%	71.9%	64.0%	63.0%	41.8%	68.4%	71.1%	57.4%	69.8%	69.3%	65.0%
901	日光市民病院	94.4%	94.8%	79.6%	89.9%	85.6%	81.8%	84.1%	89.1%	84.1%	89.9%	87.1%	93.9%
902	介護老人保健施設にっこう	62.8%	54.0%	69.0%	78.5%	71.2%	70.1%	75.4%	100.0%	79.1%	80.7%	80.0%	85.0%
1001	六合温泉医療センター	#N/A	#N/A	90.0%	100.0%	100.0%	#N/A	#N/A	100.0%	0.0%	67.4%	100.0%	21.3%
1002	西吾妻福祉病院	97.3%	93.8%	100.0%	93.8%	80.6%	98.8%	91.3%	80.0%	60.5%	93.7%	99.1%	89.4%
1101	公設宮代福祉医療センター	55.9%	84.7%	55.4%	85.1%	54.9%	92.5%	51.0%	81.7%	83.7%	75.9%	85.6%	84.0%
1201	東京ベイ・浦安市川医療センター	76.1%	73.8%	75.6%	80.6%	83.1%	76.9%	77.1%	79.7%	86.9%	81.5%	84.5%	79.5%
1202	介護老人保健施設市川ゆうゆう	94.2%	67.2%	91.5%	89.6%	61.0%	91.0%	92.2%	69.5%	91.8%	87.7%	53.1%	47.9%
1301	地域医療振興協会	85.1%	76.9%	78.6%	83.0%	82.6%	71.9%	79.2%	77.5%	72.0%	73.7%	77.5%	77.7%
1302	東京北医療センター	71.1%	76.5%	80.4%	74.7%	85.5%	68.2%	75.4%	81.3%	70.1%	65.1%	72.5%	74.9%
1304	台東区立台東病院	86.3%	85.2%	86.4%	90.8%	78.1%	90.2%	74.7%	86.5%	84.2%	77.4%	86.9%	75.8%
1305	練馬光が丘病院	82.4%	79.1%	81.3%	74.9%	62.4%	71.7%	77.9%	79.8%	80.4%	78.8%	78.4%	74.3%
1401	横須賀市立うわまち病院	82.6%	85.3%	82.5%	85.4%	87.0%	80.2%	78.9%	74.3%	79.6%	84.6%	83.6%	84.4%
1403	横須賀市立市民病院	71.5%	84.3%	73.0%	80.5%	86.6%	72.8%	83.1%	78.1%	82.9%	82.6%	86.0%	85.9%
1501	湯沢町保健医療センター	57.5%	65.9%	91.4%	96.8%	78.3%	86.5%	90.8%	85.6%	92.8%	92.6%	79.6%	55.3%
1701	加賀地域医療支援センター	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	81.2%	94.0%	92.3%	91.5%	85.5%	94.5%
1801	公立丹南病院	46.3%	62.4%	55.7%	62.0%	62.2%	61.1%	80.1%	57.6%	60.2%	68.7%	69.9%	73.9%
1802	おおい町保健・医療・福祉総合施設	100.0%	47.1%	92.4%	67.9%	94.0%	79.3%	78.5%	91.7%	91.4%	89.9%	90.6%	78.5%
1803	越前町国民健康保険織田病院	66.2%	65.9%	87.0%	62.9%	70.0%	52.6%	67.1%	63.3%	77.6%	66.7%	65.0%	63.9%
1901	上野原市立病院	65.2%	73.1%	88.9%	78.6%	64.6%	83.4%	84.8%	73.7%	89.2%	60.3%	82.6%	84.7%
2101	揖斐郡北西部地域医療センター	79.3%	89.1%	88.7%	91.9%	90.5%	84.9%	87.0%	83.2%	86.0%	77.0%	90.0%	85.5%
2103	市立恵那病院	83.6%	87.0%	84.0%	81.8%	73.1%	83.7%	75.8%	79.9%	72.4%	87.0%	72.5%	69.6%
2107	恵那市介護老人保健施設ひまわり	91.3%	78.8%	78.1%	76.4%	79.1%	83.7%	92.1%	86.2%	87.6%	87.9%	83.8%	81.4%
2203	伊東市市民病院	68.7%	73.7%	58.4%	74.5%	74.1%	56.4%	71.7%	81.3%	63.3%	67.7%	62.8%	70.1%
2205	伊東市介護老人保健施設みはらし	59.6%	81.5%	72.7%	59.2%	81.7%	81.0%	83.3%	70.8%	81.4%	26.8%	91.4%	57.9%
2206	伊豆今井浜病院	67.2%	78.9%	95.0%	71.4%	85.0%	80.8%	71.7%	68.0%	85.6%	75.7%	92.0%	60.3%
2301	あま市市民病院	60.7%	71.0%	79.6%	82.1%	71.6%	80.7%	67.5%	71.6%	70.1%	76.6%	65.8%	73.8%
2401	志摩地域医療福祉センター	88.3%	61.3%	81.8%	63.4%	66.8%	80.0%	63.7%	83.0%	62.3%	87.2%	68.9%	81.2%
2402	三重県立志摩病院	72.2%	81.6%	67.1%	77.5%	71.0%	82.7%	80.1%	68.1%	82.5%	72.5%	83.1%	76.5%
2501	地域包括ケアセンターいぶき	92.2%	83.0%	89.9%	90.3%	92.3%	93.0%	87.2%	89.1%	95.6%	87.0%	84.8%	74.9%
2503	米原市地域包括医療福祉センター	58.7%	39.5%	78.1%	72.3%	58.8%	72.4%	55.7%	87.7%	65.7%	68.4%	63.9%	50.3%
2901	市立奈良病院	75.6%	78.2%	73.6%	78.0%	74.1%	75.8%	80.7%	83.9%	75.0%	79.2%	83.4%	77.9%
4001	飯塚市立病院	78.0%	78.8%	85.8%	81.0%	79.3%	78.8%	76.5%	76.6%	75.3%	72.5%	81.8%	78.9%
4201	市立大村市民病院	77.7%	82.7%	80.4%	83.4%	84.6%	83.3%	78.1%	83.4%	84.3%	77.9%	77.6%	81.7%
4701	沖縄地域医療支援センター	90.8%	35.3%	93.4%	94.5%	93.5%	78.8%	76.0%	100.0%	100.0%	89.1%	0.0%	25.0%
4702	公立久米島病院	89.7%	85.1%	93.0%	100.0%	85.5%	64.4%	82.6%	84.8%	71.7%	68.0%	91.5%	78.8%
	全体集計/家族	78.1%	82.0%	80.8%	82.2%	79.0%	80.4%	79.8%	80.7%	80.1%	80.5%	80.5%	79.2%
	全体集計/全組合(家族)	82.2%	82.6%	82.3%	82.6%	82.5%	82.6%	81.5%	82.2%	82.6%	82.5%	82.1%	81.4%

全組合平均を上回っている

当組合平均ほ上回っている

STEP1-3-9 健診等の分析 特定健診・特定保健指導における実施結果の推移



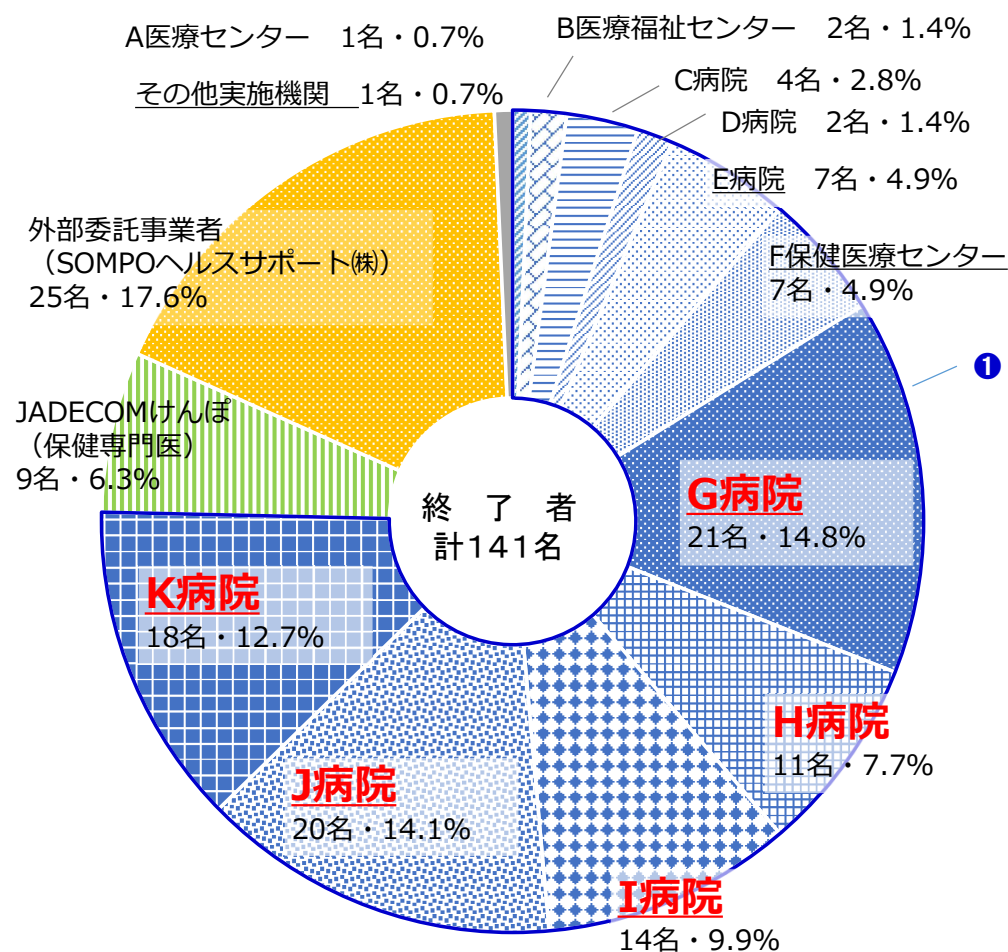
特定健診

❶ 受診率について、本人では全組合平均を上回っているが、家族では全組合平均の半分を下回っている。

特定保健指導

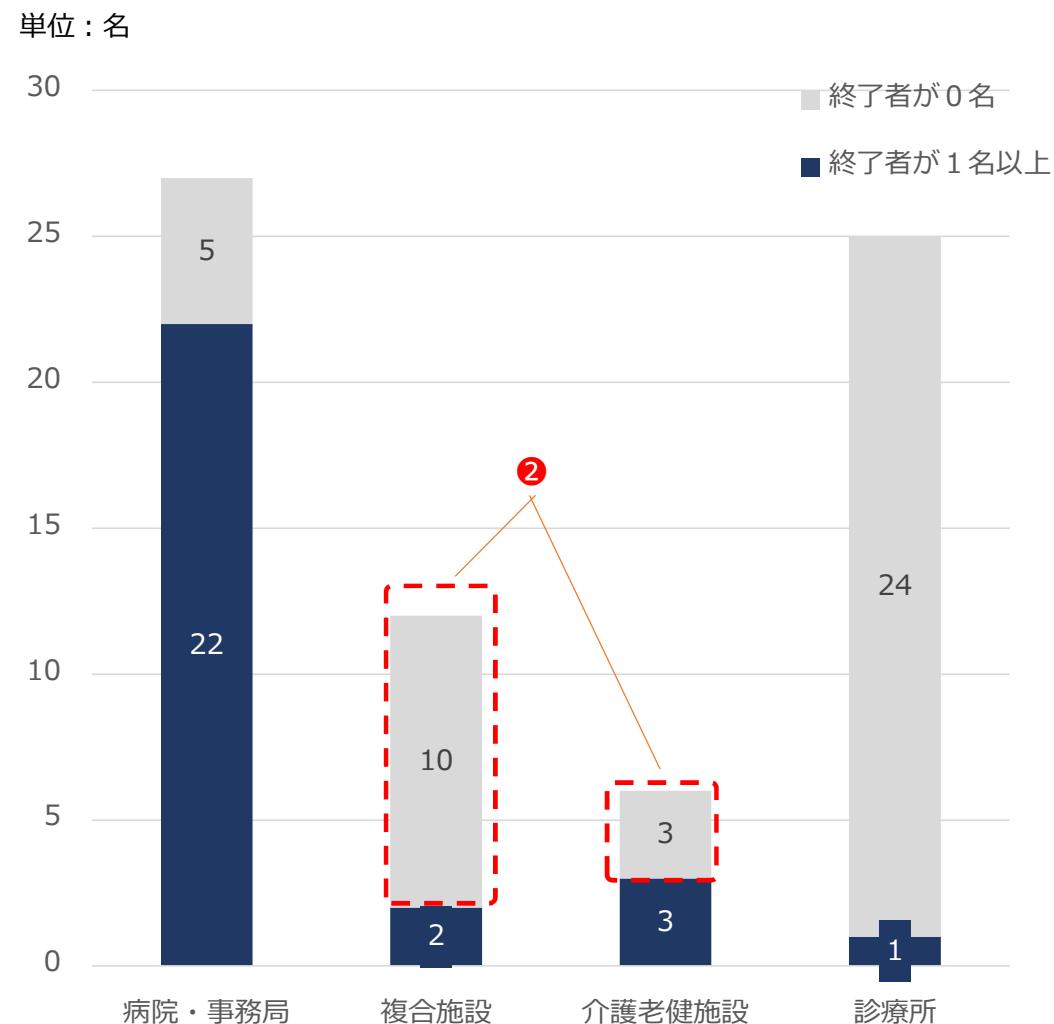
❷ 実施率について、令和2年度(23.7%)をピークに下降傾向にある。

特定保健指導終了者における実施機関別内訳



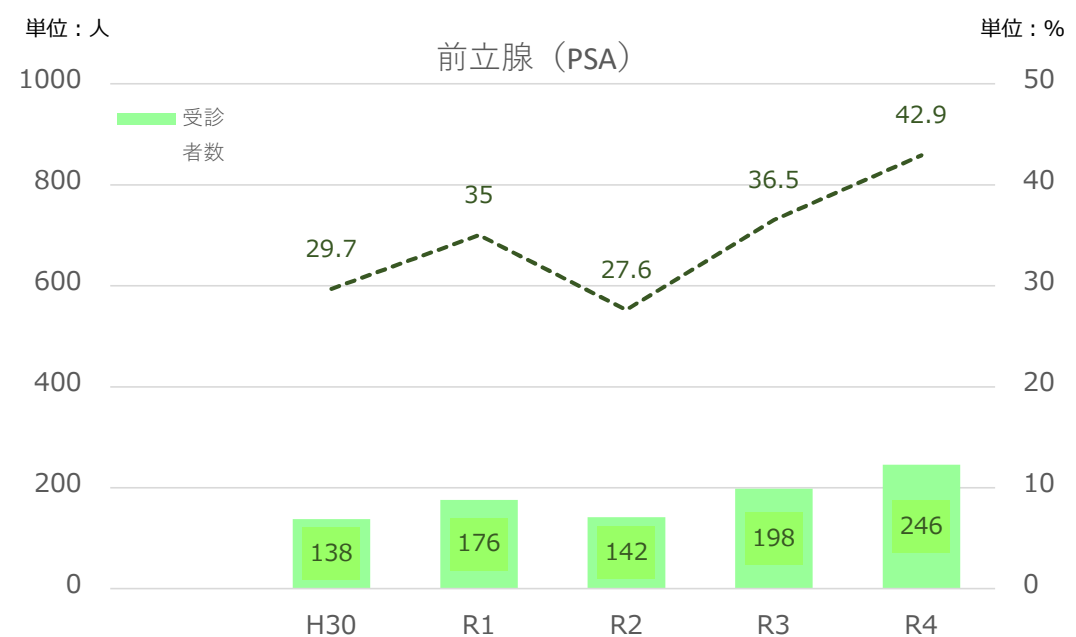
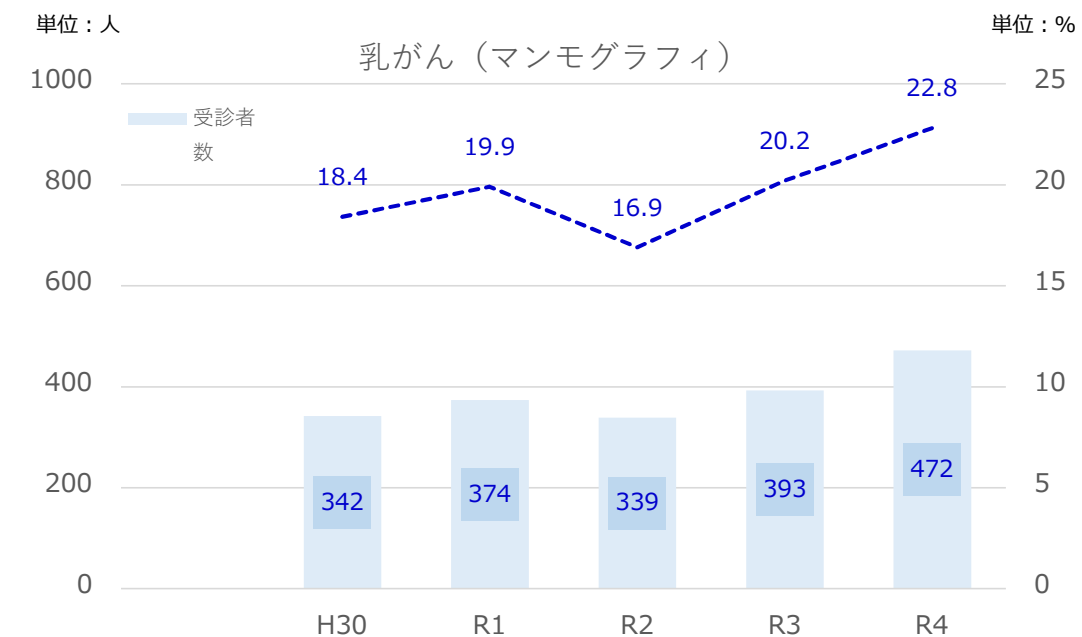
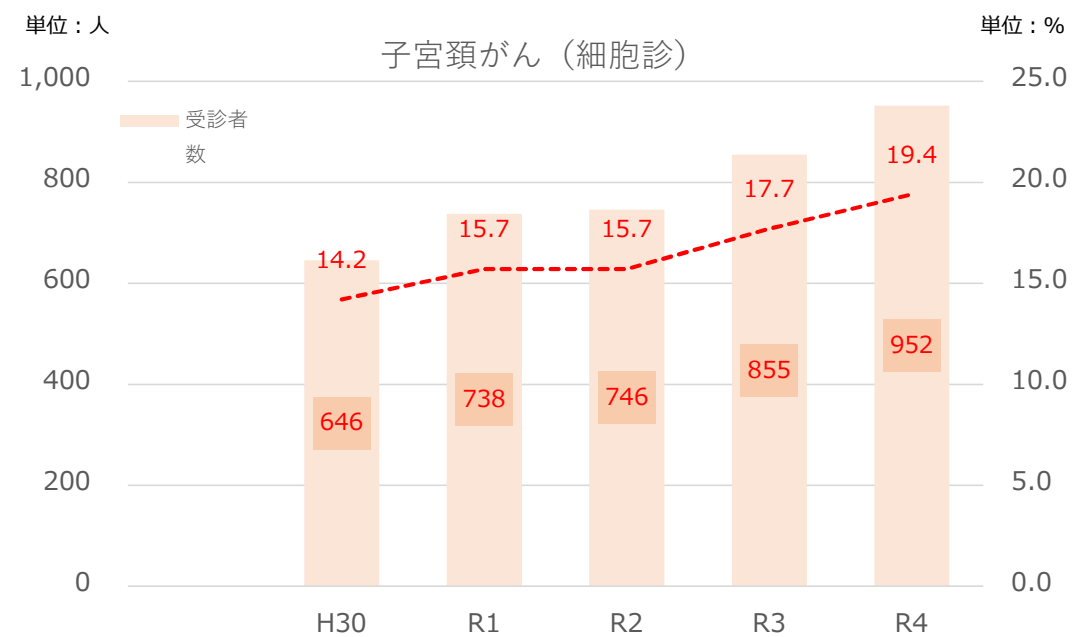
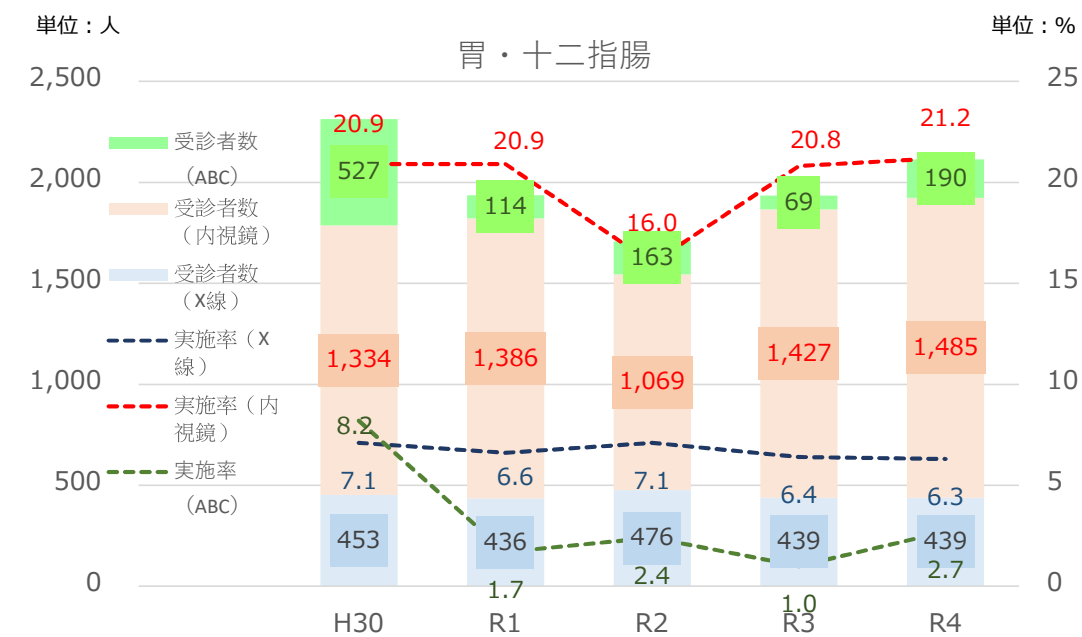
・下線付きは集合契約参加の健診機関

特定保健指導終了者における所属事業所別内訳



- ① 全体の約4分の3を協会内実施機関が占めており、自施設型特定保健指導の拡大と定着は、実施率向上において、大切な課題である。
- ② 病院・事務局では、少なくとも1名以上の終了者（申込者）がある施設が多い一方で、複合施設、介護老健施設では、特定保健指導の終了者（申込者）が0名である施設の割合が高く、事業所間において実施状況に格差が生じている。

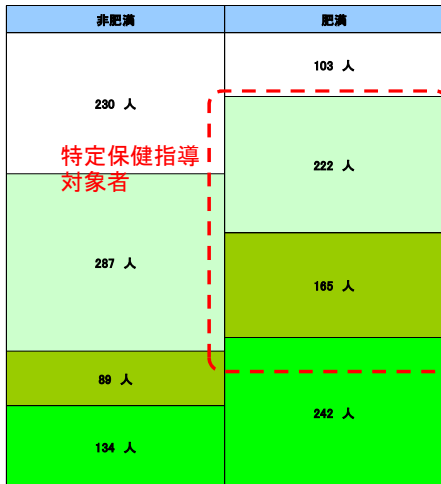
STEP1-3-11 健診等の分析 生活習慣病予防健診（基本検査以外）における実施結果の推移 [本人]



・事業の浸透により、いずれの検査においても実施件数の増加が確認できる。

R4年度 JADECComけんぽ

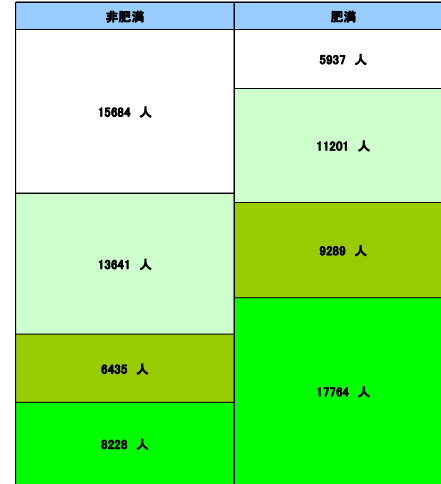
男性



組合計／男性

		非肥満	肥満	
1.基準範囲内	A1	15.63%	7.00%	B1
2.保健指導基準値以上	A2	19.50%	15.06%	B2
3.受診勧奨基準値以上	A3	6.05%	11.21%	B3
4.服薬投与	A4	9.10%	16.44%	B4
合 計		50.28%	49.73%	

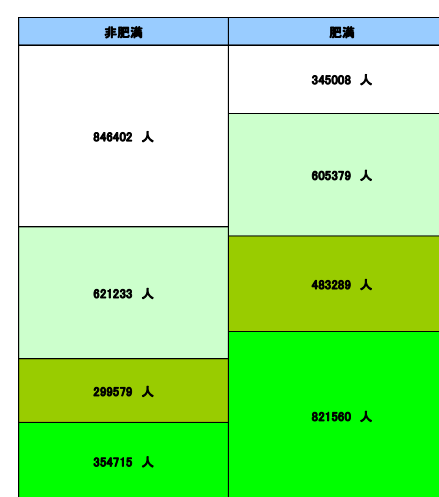
R3年度 医療福祉



自組合が属する業種／男性

		非肥満	肥満	
1.基準範囲内	A1	17.79%	6.73%	B1
2.保健指導基準値以上	A2	15.47%	12.70%	B2
3.受診勧奨基準値以上	A3	7.30%	10.53%	B3
4.服薬投与	A4	9.33%	20.15%	B4
合 計		49.89%	50.11%	

R3年度 健保組合全体



全組合集計／男性

		非肥満	肥満	
1.基準範囲内	A1	19.34%	7.88%	B1
2.保健指導基準値以上	A2	14.19%	13.83%	B2
3.受診勧奨基準値以上	A3	8.84%	11.04%	B3
4.服薬投与	A4	9.10%	18.77%	B4
合 計		48.47%	51.52%	

健診レベル判定の対前年度比較

※下段()内は前年度値

	改善率	改悪率
男性	23.38% (21.98%)	12.31% (13.18%)
女性	20.58% (27.69%)	3.77% (4.09%)

改善率 =

$$\frac{\text{B2、B3だった者のうち、A1～A3またはB1へ移動した者の人数}}{\text{B2、B3だった者の人数}}$$

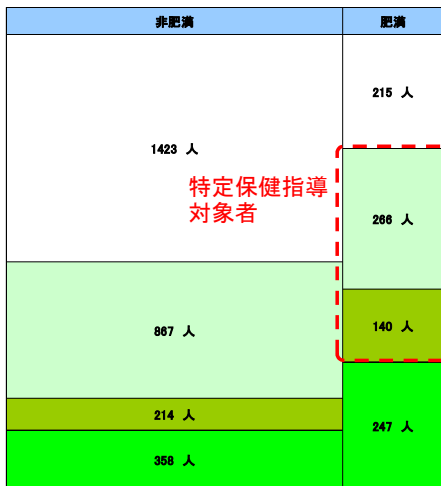
改悪率 =

$$\frac{\text{A1～A3またはB1だった者のうち、B2、B3へ移動した者の人数}}{\text{A1～A3またはB1だった者の人数}}$$

① 男性、女性とも、他の医療・福祉系の健保組合、又は健保組合全体と比べて、特定保健指導対象者（B2、B3）の割合が高い。

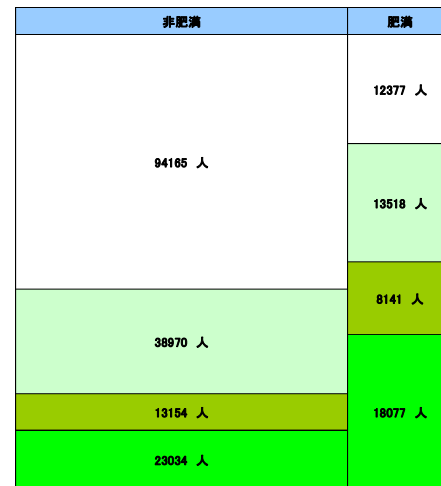
② 健診レベル判定については、男性、女性とも、改善率が改悪率を上回っている。ただし、男性は前年度（R3年度）から横ばい状態であるのに対し、女性は前年度比として約7.1%下降した。

女性



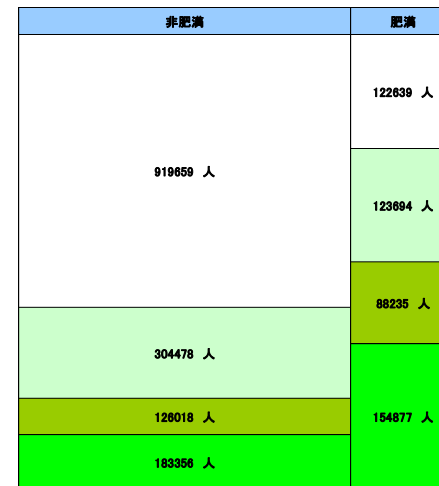
組合計／女性

		非肥満	肥満	
1.基準範囲内	A1	38.15%	5.76%	B1
2.保健指導基準値以上	A2	23.24%	7.13%	B2
3.受診勧奨基準値以上	A3	5.74%	3.75%	B3
4.服薬投与	A4	9.60%	6.62%	B4
合 計		76.73%	23.28%	



自組合が属する業種／女性

		非肥満	肥満	
1.基準範囲内	A1	42.52%	5.59%	B1
2.保健指導基準値以上	A2	17.60%	6.10%	B2
3.受診勧奨基準値以上	A3	5.94%	3.68%	B3
4.服薬投与	A4	10.40%	6.18%	B4
合 計		76.46%	23.53%	

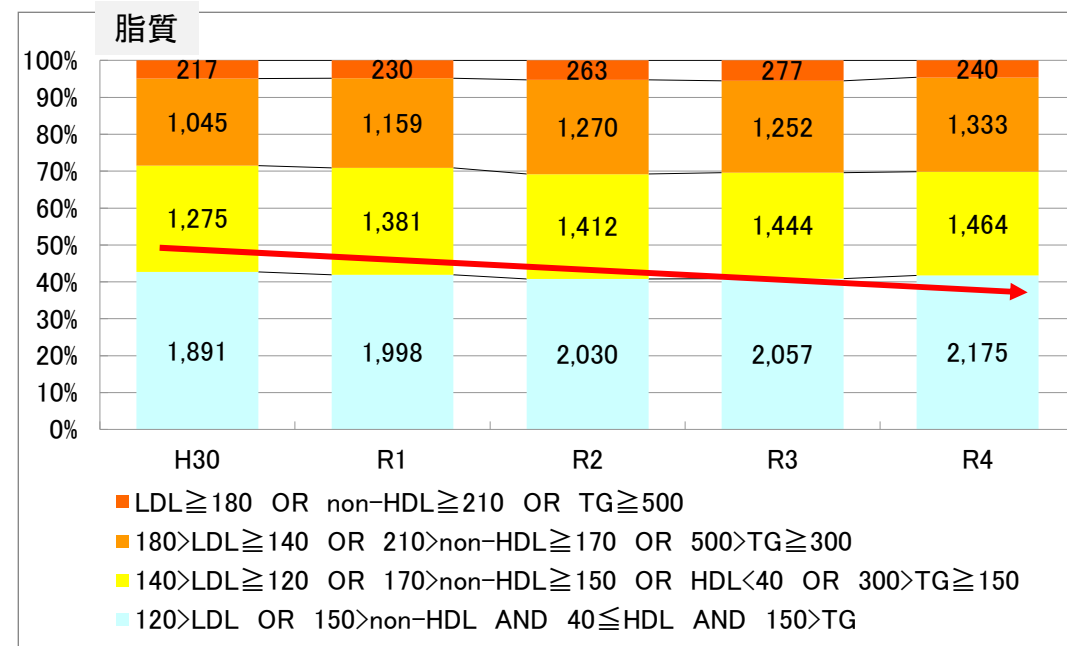
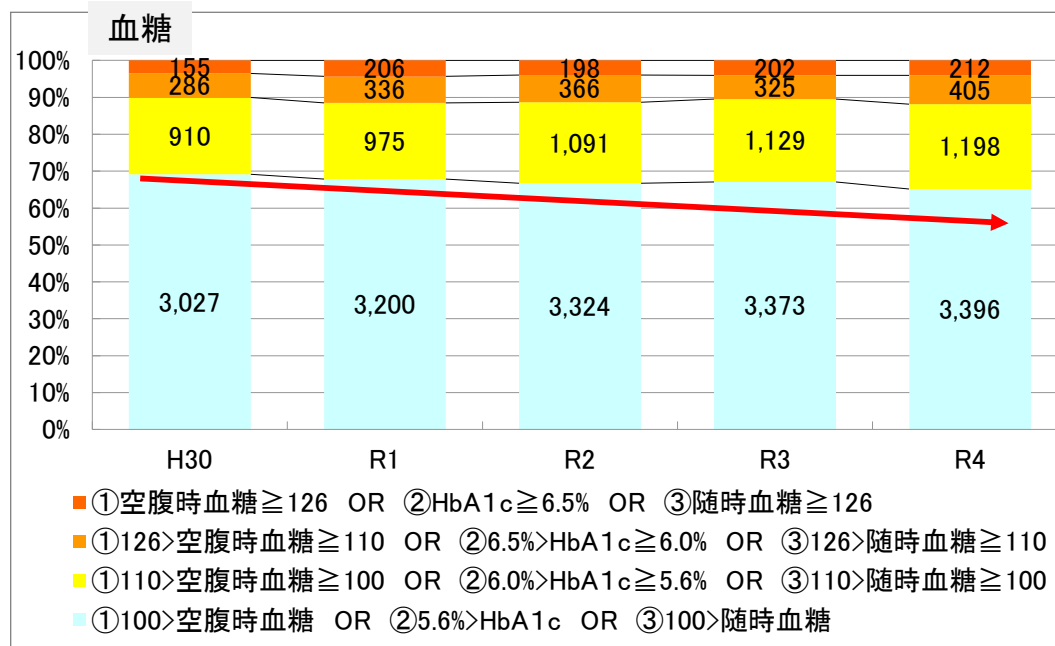
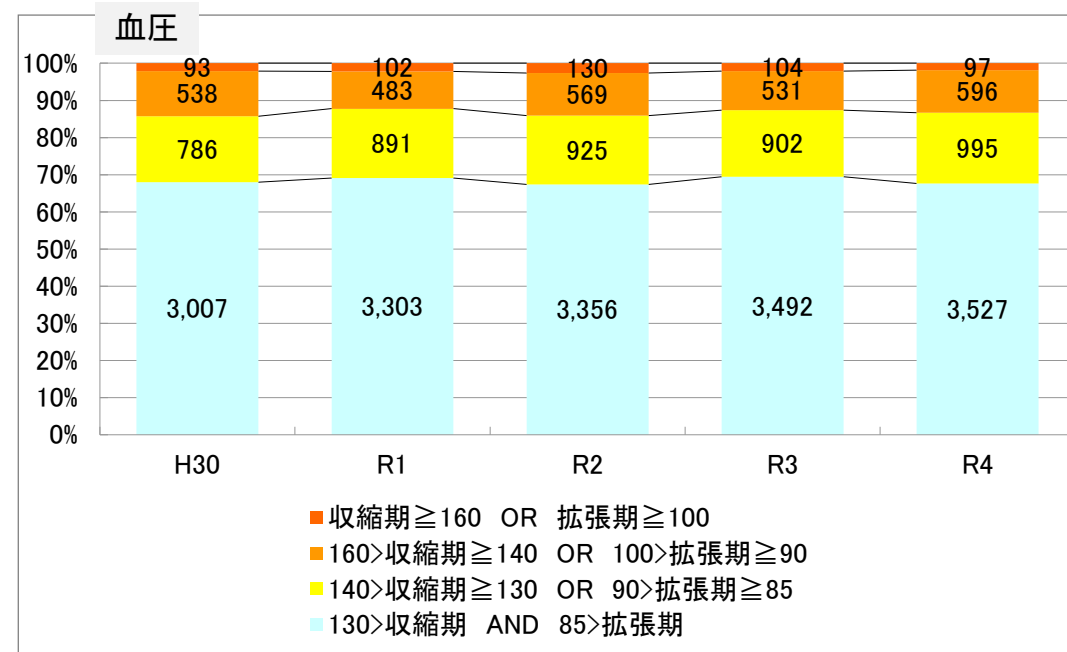
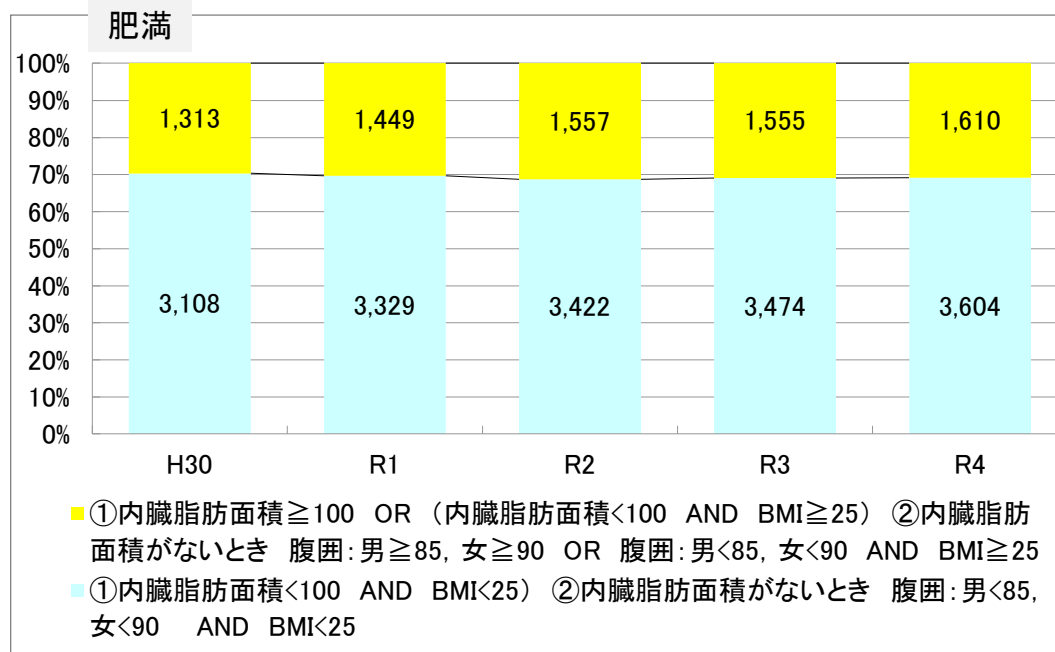


全組合集計／女性

		非肥満	肥満	
1.基準範囲内	A1	45.46%	6.06%	B1
2.保健指導基準値以上	A2	15.05%	6.11%	B2
3.受診勧奨基準値以上	A3	6.23%	4.36%	B3
4.服薬投与	A4	9.06%	7.66%	B4
合 計		75.80%	24.19%	

STEP1-3-13 健診等の分析 特定健診検査値の経年変化[本人/男女/40歳以上]

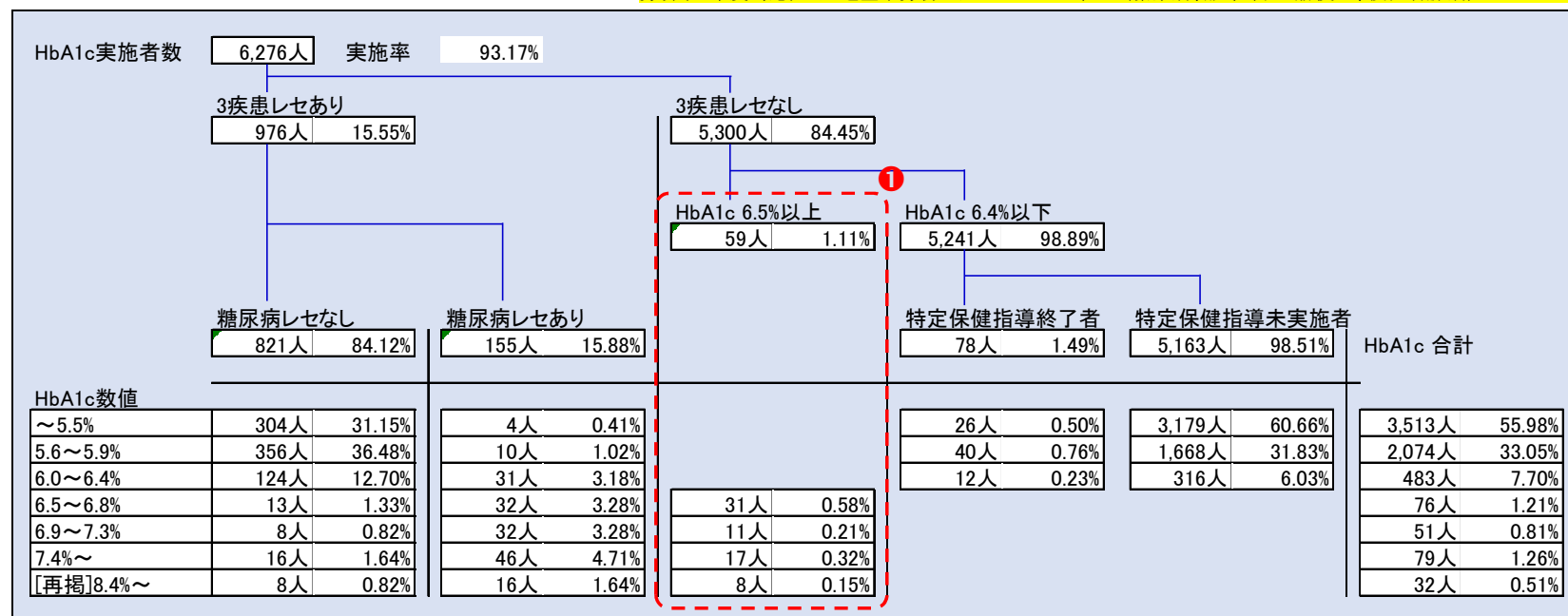
分析(25年度対応) > 共通基本分析 > 特定健診検査値の経年変化



・血糖と脂質については、検査数値が悪化傾向にある。

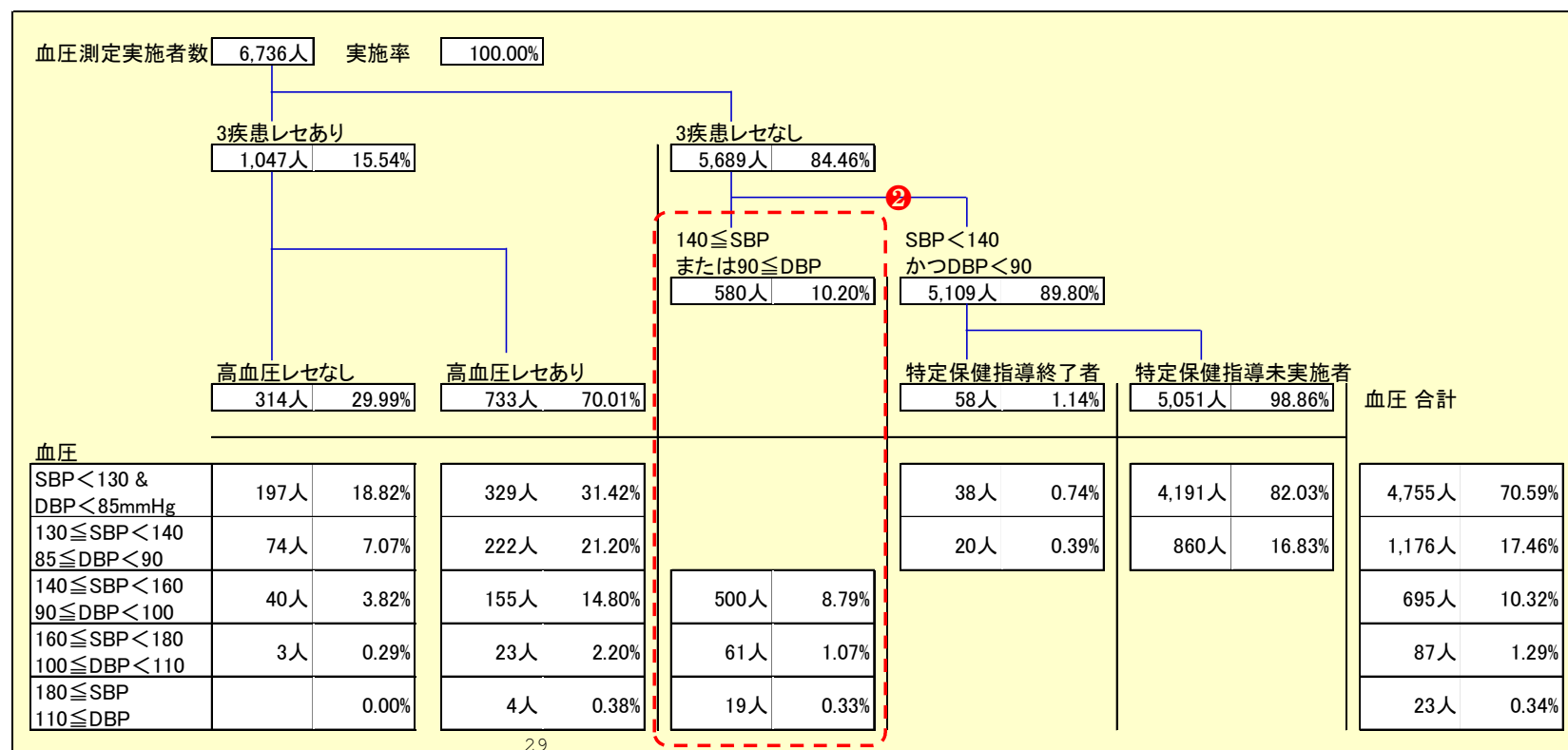
糖尿病

① 3疾患(糖尿病、脂質異常、血圧)の治療を受けておらず、かつHbA1Cが6.5%以上のコントロール不良者が**59名**おり、この層を重点的に指導し、重症化予防につなげる必要がある。



脳卒中/心筋梗塞

② 3疾患の治療を受けておらず、かつSBP(収縮期血圧)が140以上、またはDBP(拡張期血圧)が90以上の者が**580名**おり、適切な受診勧奨が必要である。

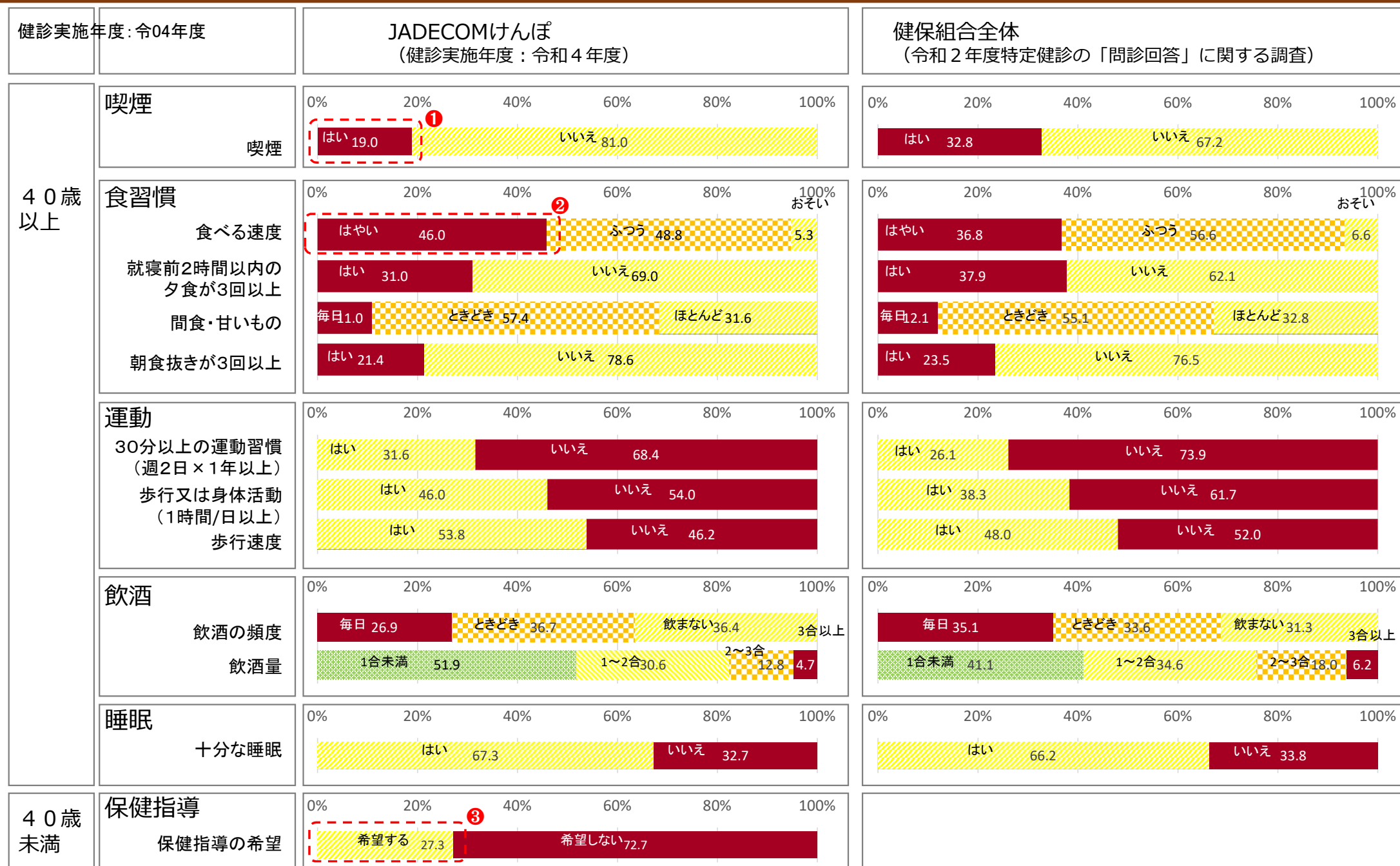


慢性腎臓病

③ 腎不全となる前のG3層該当者に対して指導し、重症化予防につなげる必要がある。

GFR区分 (mL/分/1.73m ²)		G1	G2	G3 a	G3 b	G4	G5
		正常または 高値	正常または 軽度低下	軽度～ 中等度低下	中等度～ 高度低下	高度低下	末期腎不全
尿蛋白		≥ 9 0	6 0 ～ 8 9	4 5 ～ 5 9	3 0 ～ 4 4	1 5 ～ 2 9	< 1 5
尿蛋白 (+) 以上	人 数	26	106	22	7	1	4
	割 合	15.66%	63.86%	13.25%	4.22%	0.60%	2.41%
尿蛋白 (±)	人 数	122	633	95	4	1	1
	割 合	14.25%	73.95%	11.10%	0.47%	-	-
尿蛋白 (-)	人 数	716	3,540	403	24	1	
	割 合	15.29%	75.58%	8.60%	0.51%	0.02%	0.00%

STEP1-3-15 健診等の分析 問診表の回答結果 [本人/男性]



- ① 喫煙率は、健保組合全体の比率と比べて低い。
- ② 健保組合全体と比べて「早食い」の傾向が顕著である。
- ③ 40歳未満でも、比較的に保健指導への参加希望者が確認できる。

STEP1-3-15 健診等の分析 問診表の回答結果 [本人/女性]

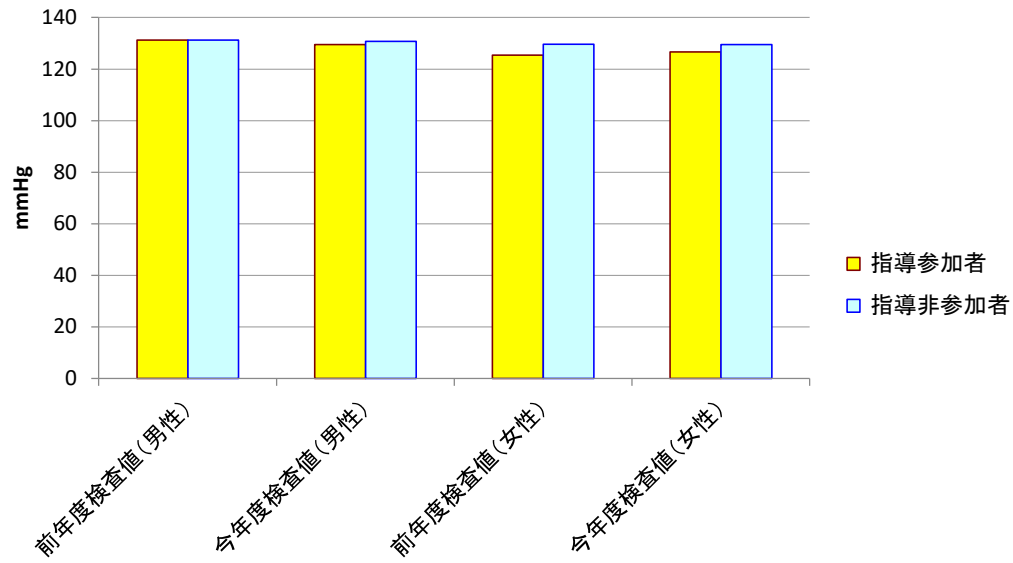
健診実施年度：令04年度		JADECOMけんぽ (健診実施年度：令和4年度)	健保組合全体 (令和2年度特定健診の「問診回答」に関する調査)
40歳以上	喫煙	喫煙 9.2 いいえ 90.8	はい 11.2 いいえ 88.8
	食習慣	食べる速度 就寝前2時間以内の夕食が3回以上 間食・甘いもの 朝食抜きが3回以上 はい 34.6 ふつう 58.0 おそい 7.4 はい 29.0 いいえ 71.0 毎日 27.9 ときどき 58.8 ほとんど 13.3 はい 19.2 いいえ 80.8	はい 26.6 ふつう 64.1 おそい 9.3 はい 20.2 いいえ 79.8 毎日 30.8 ときどき 55.7 ほとんど 13.5 はい 15.2 いいえ 84.8
	運動	30分以上の運動習慣(週2日×1年以上) 歩行又は身体活動(1時間/日以上) 歩行速度 はい 15.5 いいえ 84.5 はい 40.3 いいえ 59.7 はい 44.3 いいえ 55.7	はい 18.9 いいえ 81.1 はい 39.9 いいえ 60.1 はい 44.0 いいえ 56.0
	飲酒	飲酒の頻度 飲酒量 毎日 14.2 ときどき 34.0 飲まない 51.8 3合以上 1.1 1合未満 72.4 1～2合 21.1 3合以上 5.4	毎日 15.7 ときどき 30.7 飲まない 53.6 3合以上 1.5 1合未満 71.0 1～2合 1.5 3合以上 6.0
	睡眠	十分な睡眠 はい 61.4 いいえ 38.6	はい 62.9 いいえ 37.1
40歳未満	保健指導	保健指導の希望 希望する 22.6 希望しない 77.4	

④ 男性わりも食生活全体において乱れが目立つ。

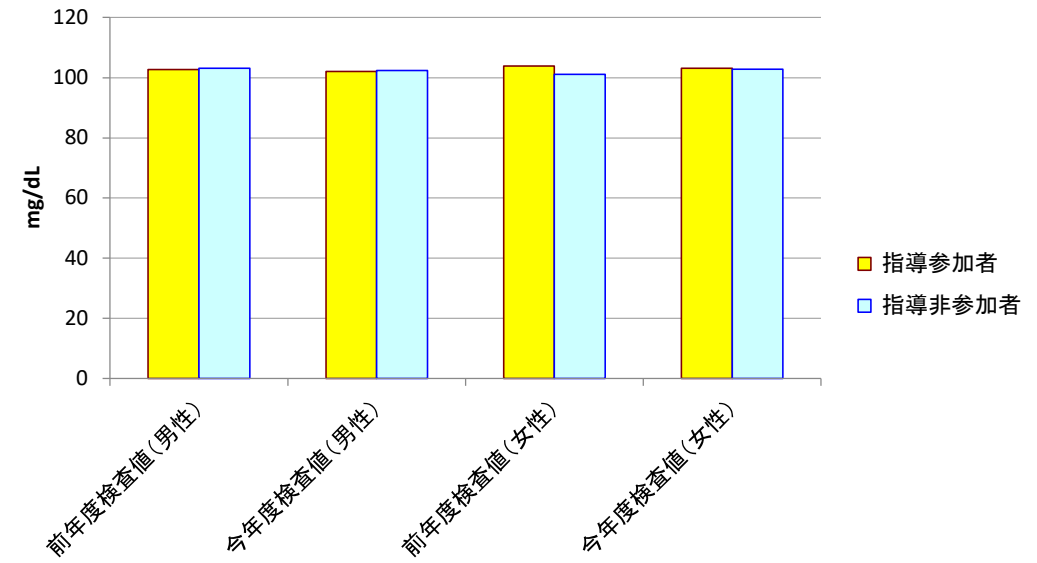
⑤ 40歳未満でも、比較的保健指導への参加希望者が確認できる。

健診実施年度: 令04年度

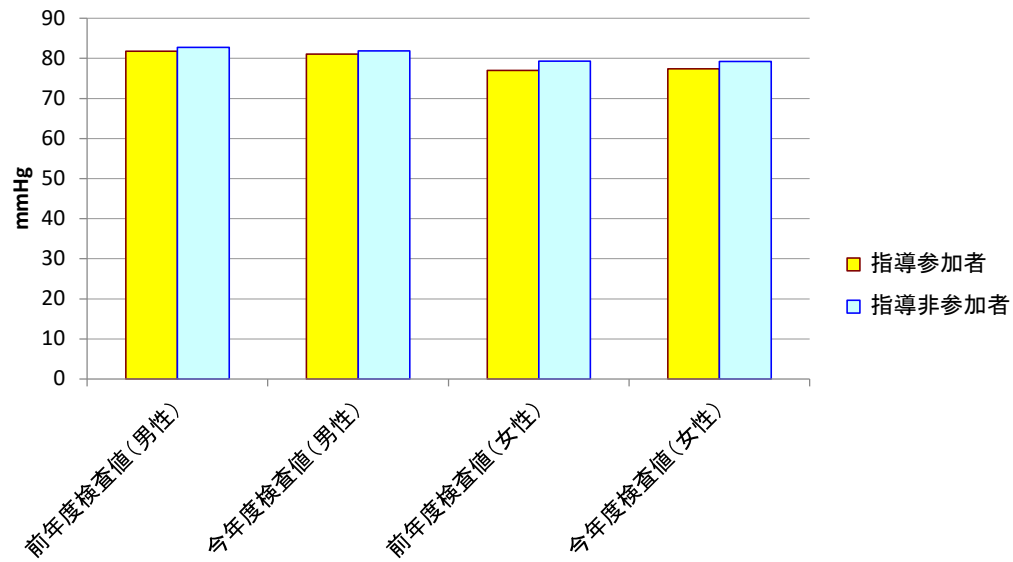
収縮期血圧の変化



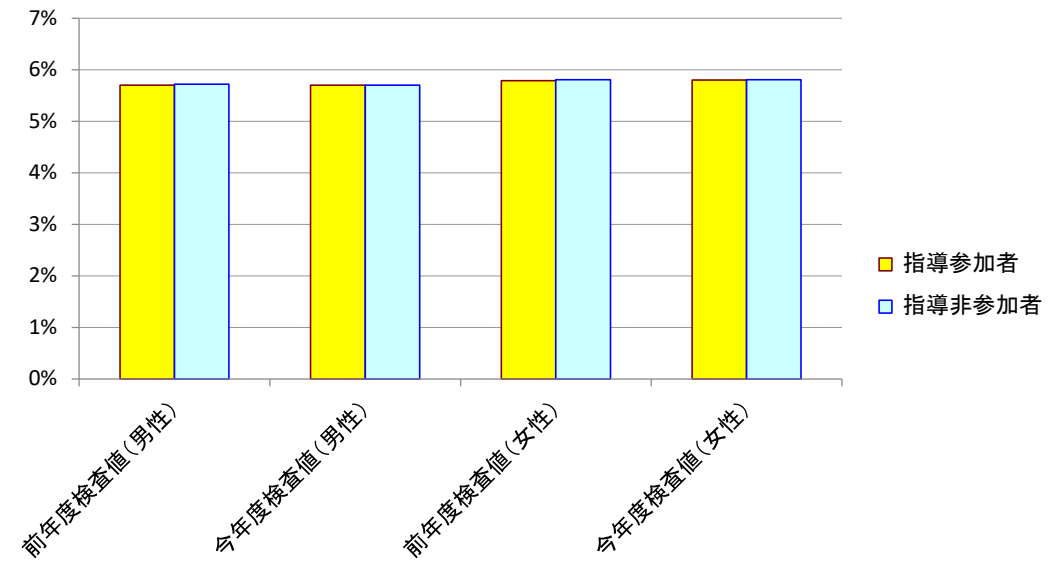
血糖値の変化



拡張期血圧の変化

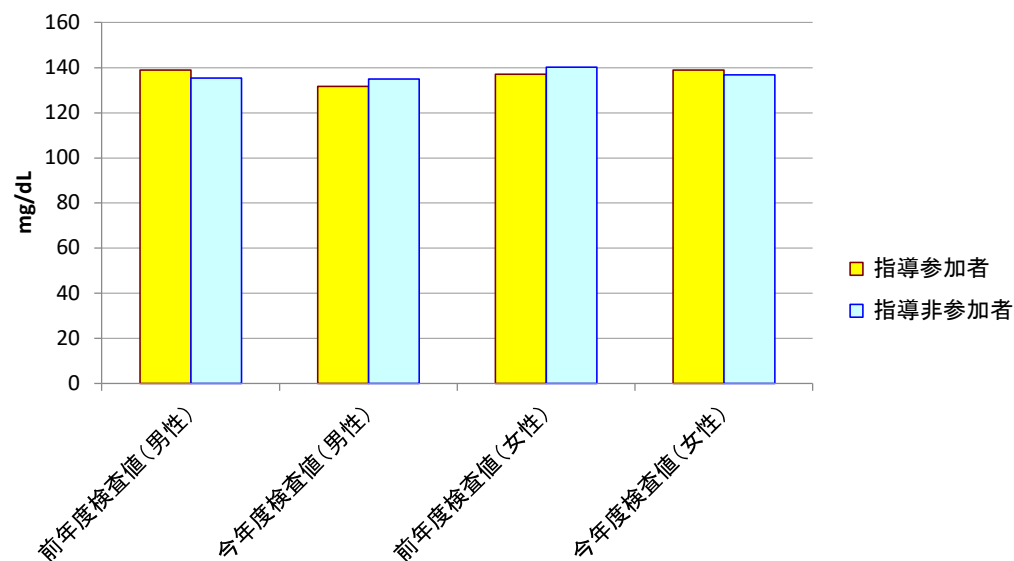


HbA1cの変化

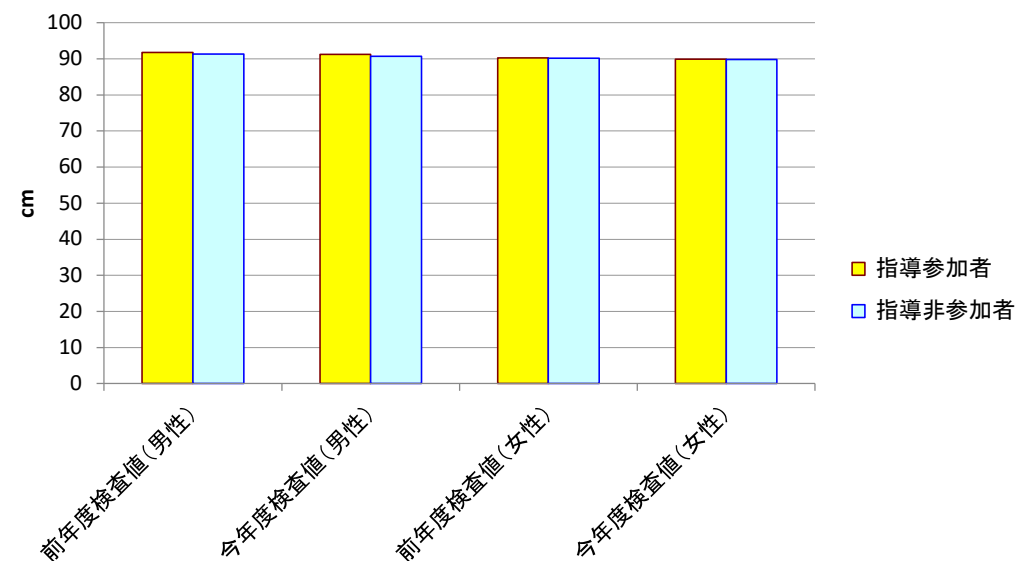


健診実施年度: 令04年度

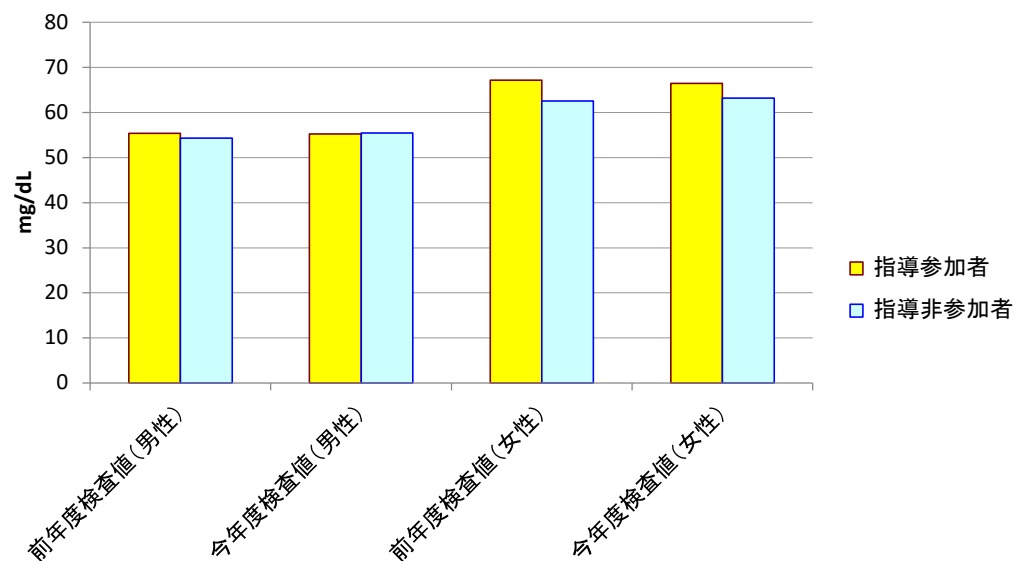
LDLの変化



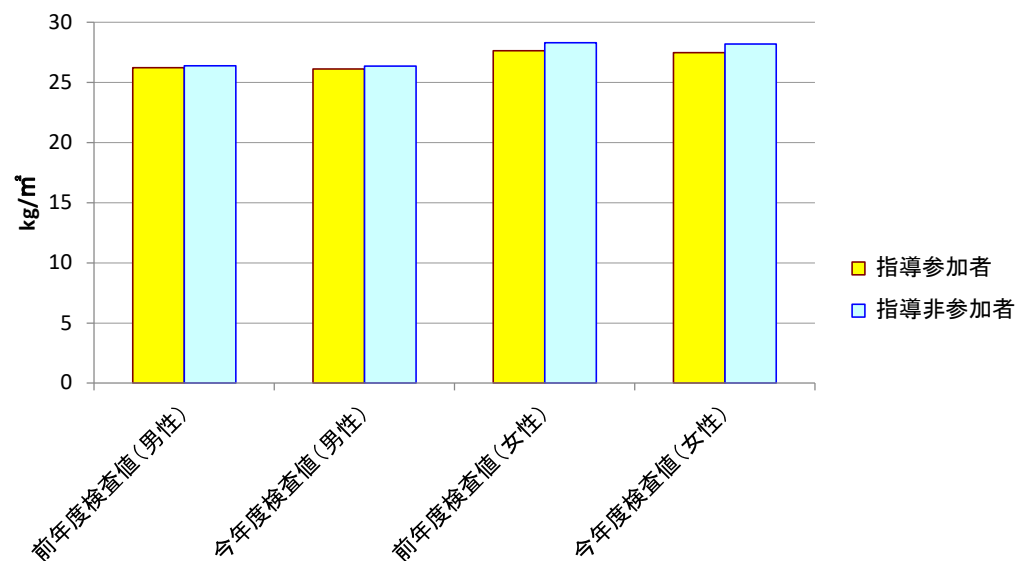
腹囲の変化



HDLの変化



BMIの変化



いずれの検査カテゴリーにおいても特定保健指導実施に伴う改善効果が確認できないため、アウトカムを重視した取り組みが必要である。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク, ケ, コ, サ	年々増加傾向にある一人あたりの医療費の抑制	➡	【原因】 - 高額医療該当レセプトの件数増 - 一部加入者に確認されている不適正な受診（頻回受診、重複受診、時間外受診） - 他組合より低い傾向にある後発医薬品の使用割合 【対策の方向性】 - レセプト審査の点検強化と扶養認定事務の厳格化 - 不適正受診者に対する注意喚起のための是正通知の導入 - 後発医薬品の使用率向上のための周知と差額通知の継続実施 - 他の健康課題の解消	✓
2	シ	低迷している家族における健診受診率の改善	➡	【原因】 - 対象者における健康管理に対する無関心、または、生活習慣改善に対する諦め - 受診のための体制基盤が不十分 - 制度に対する誤解 【対策の方向性】 《意識づけ》 - ホームページの積極的な活用 - 被保険者証の配布時、又は検認調査時を利用した制度周知のためのリーフレット等の同時配布 《環境整備》 - けんぽ共同健診事業への継続参加	

3	ス、ト、ナ、 ニ	特定保健指導実施率の向上	➡ 【原因】 ①本人 ・対象者における健康管理に対する無関心、または、生活習慣改善に対する諦め ・実施体制のマンネリ化と対象者に見られる特定保健指導への参加疲れ ・対象者への参加働きかけにかかる事業所間の温度格差 ②家族 ・対象者における健康管理に対する無関心、または、現実逃避と生活習慣改善に対する諦め ③参加のための体制基盤が不十分 【対策の方向性】 ①本人 ・対象者への参加働きかけについての事業主との連携強化 ・特定保健指導を安衛法上の保健指導という視点に基づいた事業主から対象者への参加働きかけの強化 ・特定保健指導の実施率向上に向けた各事業所の取組みの評価のための事業所インセンティブの導入 ・外部委託を活用した対象者により魅力的なプログラムの導入 ・対象者以外（情報提供、または40歳未満）希望者への同様プログラムの提供開始とこれをきっかけとした組合全体間における健康意識の醸成 ②家族 ・ホームページの積極的な活用 ・被保険者証の配布時、又は検認調査時を利用した制度周知のためのリーフレット等の同時配布 ・けんぽ共同健診事業におけるワンストップサービスの継続実施 ・外部委託を活用した対象者により魅力的なプログラムの導入	
4	ウ、エ、セ	婦人科由来（乳房、女性生殖器）の悪性新生物にかかる有病者数、医療費の抑制と検診受診率の増加	➡ 【原因】 ・対象者における健康管理に対する無関心 【対策の方向性】 《環境整備》 ・早期発見のためのがん検診体制の構築 →事業所からの要望に基づく市中検診機関との委託契約の拡大 《意識づけ》 ・広報誌「みんなのけんぽ」等を利用した検診受診の呼びかけ	

5	ク	メンタル疾患を原因とする休職者増に伴う職場内生産性低下の抑止	→	【原因】 ・職場内の意思疎通の欠如 ・職場内におけるメンタル疾患初期症状の見逃しによる重症化 【対策の方法性】 《環境整備》 ・職場環境づくりのための監督者研修の実施 ・各事業所単位における健康管理委員会を中心とした健康相談窓口の設置 《意識づけ》 ・EAPサービスの広報強化（利用状況の公表を含む）	
6	ソ，タ，チ， ツ，テ，ト	生活習慣病の諸要因に対する重症化リスクの抑止	→	【原因】 ・対象者における健康管理に対する無関心、または、生活習慣改善に対する諦め ・治療放置者、またはコントロール不良者 ・職業柄とみられる不規則な食習慣の傾向 ・慢性的な運動不足の傾向 【対策の方向性】 ・対象者範囲の見直しも視野に入れた重症化予防事業の継続実施 ・広報誌「みんなのけんぽ」を利用した食生活の改善と運動不足の解消のための連載記事の継続掲載 ・特定保健指導対象者以外（情報提供、または40歳未満）希望者への同様プログラムの提供開始とこれをきっかけとした組合全体間における健康意識の醸成	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・事業所が僻地や離島に多く、規模も様々ではない。 ・被保険者の約70%が女性である。 ・健保組合には事業所の産業医が保健専門医として併任しており、また、事業の性格上、事業所には多くの医療スタッフがいるため、保健事業の実施にあたり事業所との連携が期待できる。	→	・女性被保険者の疾病構造及び医療費構造を確認し、女性特有の疾病への対策を講じる必要がある。 ・事業所ごとの規模や状況に配慮した保健事業を展開すること（コラボヘルス）により、効果的な事業実施につながると考えられる。 ・各事業所の事業は、所在する地方自治体との関係が深く、地方自治体が住民向けに実施する保健事業も視野に入れることが有効と考えられる。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・被扶養者の特定健診受診率は22.0%（令和4年度）と低迷している。 ・全般的に加入者の健康保険組合の事業に対する理解に乏しい面があり、事業が十分に浸透しているとは言えない。 ・特定保健指導の実施率が低く、引き上げが大きな課題である。	→	・被扶養者へのアプローチに苦慮しており、制度や事業への理解の促進を含めた受診勧奨方法等を工夫する必要がある。 ・特定保健指導については、被扶養者だけでなく被保険者も含めて利用促進が必要である。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 加入者の健康・ＱＯＬの改善を図り、生活習慣病に係る医療費適正化を目的とする。	事業全体の目標 - 特定健診受診率の向上による健康維持（特定健診受診率90%以上） - 特定保健指導実施率の向上による健康改善（特定保健指導実施率60%以上） - 生活習慣病リスク者の重症化予防の推進 - 事業所とのコラボヘルスを促進
---	--

事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	メンタルヘルス管理監督者研修
予算措置なし	健康管理事業推進委員会
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品促進通知
保健指導宣伝	医療費適正化に向けた是正通知
保健指導宣伝	広報誌「健保ガイド」
保健指導宣伝	広報紙「みんなのけんぽ」
保健指導宣伝	組合ホームページ
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査 [本人]
特定健康診査事業	特定健康診査 [家族等]
特定保健指導事業	生活習慣改善プログラム（特定保健指導）
疾病予防	生活習慣病予防健診 [本人]
疾病予防	生活習慣病予防健診 [家族等]
疾病予防	生活習慣改善プログラム（特定保健指導以外）
疾病予防	重症化予防プログラム
疾病予防	インフルエンザ予防接種の一部補助
疾病予防	禁煙外来の一部補助
疾病予防	EAPサービス（こころの相談）
疾病予防	歯科健診
予算措置なし	健康相談

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連				
				対象 事業所	性別	年 齢						対象者	実施計画									
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標										
保 健 指 導 宣 伝	1,5	既 存	メンタルヘル ス管理監督者 研修	全て	男女	18 ～ (上 限 なし)	被保険 者	3	ケ,ス	ー	ア,イ,ケ	事業主との共同開催として、費用は折半。	1,000	-	-	-	-	-	メンタル疾患を原因とした休職者数と傷病 手当金支給日数の減	メンタル疾患を原因とする休職者 増に伴う職場内生産性低下の抑止		
													【目的】メンタル疾患を 原因とする休職者増に伴 う職場内生産性低下の抑 止 【概要】職員（被保険者 ）におけるメンタル疾患 早期発見を目的として、 各部門の管理監督者を対 象として、①メンタル疾 患に陥りやすい性格の人 物の傾向、②メンタル疾 患となった場合の見逃し やすい初期症状等のテー マを中心として、外部か ら講師を招聘し、オンラ インで,研修会を開催（年 間2回程度）する。 【変更】なし《前年度事 業の継続実施》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》				
													参加人数(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：200人 令和7年度：200人 令和8年度：200人 令和9年度：200人 令和10年度：200人 令和11年度：200人)前 年度：1回目（R4.5.13）当日229名、オンデマンド11名（重複あり） 2回目（R4.9.16）当日193名、オンデマンド19名（重複あり）									
予 算 措 置 なし	1	既 存	健康管理事業 推進委員会	母体企 業	男女	18 ～ 74	被保険 者	1	ア,イ,ウ,キ ,ク,ケ,ス	・年1回以上（1 2月第1 木曜）開催し、データヘル ス計画の見直し等につ いて検討する。 ・組合保健専門医が毎月 時々の話題を取り上げた 「けんぽ便り」を各事業 所の健康管理委員に送付 する。	ア,イ,カ,コー	【目的】(1)協会の労働安 全・健康管理委員会との 連携強化、(2)データヘル ス計画等の点検・見直し (前期計画の最終評価) 【概要】年1回以上、委員 (構成員は、常務理事、 組合保健専門医、健康管 理委員（代表）、事業主 代表、学識経験者）招集 の上、開催する。 【変更】なし《前年度事 業の継続実施》	0	-	-	-	-	-	職員（被保険者）に係る健康情報の共有化	年々増加傾向にある一人あたりの 医療費の抑制		
													《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》		低迷している家族における健診受 診率の改善		
													《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》		特定保健指導実施率の向上		
													《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》		婦人科由来（乳房、女性生殖器） の悪性新生物にかかる有病者数、 医療費の抑制と検診受診率の増加		
													《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》		メンタル疾患を原因とする休職者 増に伴う職場内生産性低下の抑止		
													《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》		生活習慣病の諸要因に対する重症 化リスクの抑止		
開催回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)前年度：1回（R 5.12.7）													- (アウトカムは設定されていません)									
加入者への意識づけ																						
保 健 指 導 宣 伝	2	既 存	医療費通知	全て	男女	0 ～ 74	基準該 当者	1	ス	・年間通知書において、 一般被保険者分について は、組合から一括送付後 、各事業所において該当 被保険者に配布される。 任意継続加入者分につ いては、組合から登録住所 に直送する。 ・年間通知書の配布時期 ：2月	シ	【外部委託】株式会社大 和総研	1,003	-	-	-	-	-	・医療費適正化に向けた受診者による受診 履歴や医療費額等についての確認の機会の 付与 ・加入者における医療や健康に対する意識 の醸成	年々増加傾向にある一人あたりの 医療費の抑制		
													《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》				
													《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》				
配布率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%) 前年度：100%通知件数（①四半期分：35,246件、②年間分：11,249件）													- (アウトカムは設定されていません)									
2,7	既 存	ジェネリック 医薬品促進通 知	全て	男女	0 ～ 74	基準該 当者	1	ア,キ	シ	【外部委託】株式会社大 和総研	282	-	-	-	-	-	ジェネリック医薬品の処方率の向上と薬剤 費の削減	年々増加傾向にある一人あたりの 医療費の抑制				
											【目的】ジェネリック医 薬品の処方率の向上 【概要】(1)配布対象は、 ジェネリック医薬品への 切替により窓口負担額が5 00円以上の削減が生じる もの。(2)広報紙「みんな のけんぽ」でジェネリッ ク希望シールを配布。 【変更】なし《前年度事 業の継続実施》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》						
											《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》	《前年度事業の継続実施 》						
配布率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%) 前年度：100%（送付件数：1,324件）													全組合平均との後発医薬品使用割合の差(【実績値】1.9% 【目標値】令和6年度：1.6% 令和7年度：1.4% 令和8年度：1.2% 令和9年度：1.0% 令和10年度：0.8% 令和11年度：0.6%)算出条件：「調剤医 療費と後発医薬品使用率 全体集計比較 診療年度>強制>全組合集計」 R5.3診療月時点：自組合-全組合：本人1.9%＝85.7-83.8、家族2.2%＝81.4-79.2 ※「令和5年度末の実績値」については暫定的に上記R5.3診療月時点の実績値（被保険者）を入力済み									
													671	-	-	-	-	-				

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	2,5	新規	医療費適正化に向けた是正通知	全て	男女	0 ～ 74	基準該当者	1	ク,ス	-	シ	【外部委託】株式会社 社会保険研究所	【目的】医療費適正化に向けた加入者への啓蒙 【概要】レセプト点検の結果、不適正な受診（頻回受診、重複受診、時間外受診）が判明した加入者に対して、個別に受診適正化に向けた注意喚起文書を発送する。 【変更】令和6年度より新規導入	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	不適正受診（頻回受診、重複受診、時間外受診）の減少	年々増加傾向にある一人あたりの医療費の抑制					
配布回数(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)《外部委託先事業者と詳細のスケジュールについて調整中》													新規導入事業であり、導入効果が未知数であるため(アウトカムは設定されていません)												
	2,5	既存	広報誌「健保ガイド」	全て	男女	18 ～ 74	被保険者	1	ケ,ス	・毎年度4月に一般被保険者分については、組合から一括送付後、各事業所において全員に配布される。任意継続加入者分については、組合から登録住所に直送する。 ・配布時期：4月	シ	【外部委託】株式会社 社会保険出版社	【目的】健康保険制度及び健康保険組合の事業内容の紹介 【変更】なし《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	健康保険制度及び健康保険組合の事業内容の紹介	年々増加傾向にある一人あたりの医療費の抑制 低迷している家族における健診受診率の改善 特定保健指導実施率の向上 婦人科由来（乳房、女性生殖器）の悪性新生物にかかる有病者数、医療費の抑制と検診受診率の増加 メンタル疾患を原因とする休職者増に伴う職場内生産性低下の抑止 生活習慣病の諸要因に対する重症化リスクの抑止					
配布回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)前年度：1回													- (アウトカムは設定されていません)												
	2,5	既存	広報紙「みんなのけんぽ」	全て	男女	0 ～ 74	被保険者、被扶養者	1	ケ,ス	・一般被保険者分については、組合から一括送付後、各事業所において希望者等に配布される。任意継続加入者分については、組合から登録住所に直送する。	シ	【外部委託】株式会社 社会保険研究所	【目的】各種健保情報や事業内容の周知、健康意識の醸成 【概要】年4回（4月、7月、10月、1月）に分けて発行し、各事業所の希望部数分を配布する。なお、任意継続加入者については、組合から直送する。 【変更】なし《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	各種の健保組合の活動状況や事業内容の周知、健康意識の醸成	年々増加傾向にある一人あたりの医療費の抑制 低迷している家族における健診受診率の改善 特定保健指導実施率の向上 婦人科由来（乳房、女性生殖器）の悪性新生物にかかる有病者数、医療費の抑制と検診受診率の増加 メンタル疾患を原因とする休職者増に伴う職場内生産性低下の抑止 生活習慣病の諸要因に対する重症化リスクの抑止					
発行回数(【実績値】4回4月、7月、10月、1月) 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)前年度：年4回（-													- (アウトカムは設定されていません)												
	2,5	既存	組合ホームページ	全て	男女	0 ～ 74	加入者全員	1	ケ,ス	-	シ	【外部委託】一般財団法人 関西情報センター	【目的】被保険者及び被扶養者に対する当健保組合の事業概要、健康保険制度の周知、情報発信、コミュニケーションの場として開設 【変更】なし《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	各種の健康保険組合の活動状況や事業内容の周知、健康意識の醸成	年々増加傾向にある一人あたりの医療費の抑制 低迷している家族における健診受診率の改善 特定保健指導実施率の向上 婦人科由来（乳房、女性生殖器）の悪性新生物にかかる有病者数、医療費の抑制と検診受診率の増加 メンタル疾患を原因とする休職者増に伴う職場内生産性低下の抑止 生活習慣病の諸要因に対する重症化リスクの抑止					
コンテンツの見直し回数(【実績値】12回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-													ページ別訪問数の像(【実績値】11,665回 【目標値】令和6年度：12,000回 令和7年度：12,000回 令和8年度：12,000回 令和9年度：12,000回 令和10年度：12,000回 令和11年度：12,000回)前年度：集計未実施（googleアナリティクス の仕様変更、サーバー移転のため）年間延べページ別訪問数												
個別の事業																									
													0	-	-	-	-	-							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画									
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度				
特定健康 診 査 事 業	アウトプット指標												アウトカム指標									
	3	既存 （法定）	特定健康診査 [本人]	全て	男女	40 ～ 74	被保険者	2	キ,ケ,ス	・一般被保険者の所属事業所にて職員健診（労働安全衛生法66条）により実施する。 ・健康診査で得られたデータについては、事業主と共同利用する。	ア,カ,シ	－	【目的】メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防と改善 【概要】高齢者の医療の確保に関する法律20条に基づく健康診査 【変更】なし《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	・メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防と改善 ・40歳以上被保険者の健康維持	生活習慣病の諸要因に対する重症化リスクの抑止		
	各事業所ごとの受診率の公表(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)前年度：0回												内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】9.1% 【目標値】令和6年度：8.8% 令和7年度：8.6% 令和8年度：8.4% 令和9年度：8.2% 令和10年度：8.0% 令和11年度：7.8%)算出条件：「特定健診の実施状況 一般（任継含）>男女計>本人>40歳以上 内臓脂肪症候群該当者割合」 ※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（9.1%）を入力済み									
	健診受診率(【実績値】95.2% 【目標値】令和6年度：95.0% 令和7年度：95.0% 令和8年度：95.0% 令和9年度：95.0% 令和10年度：95.0% 令和11年度：95.0%)算出条件：「特定健診の実施状況 一般（任継含）>男女計>本人>40歳以上 健診受診率」 ※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（95.2%）を入力済み																					
	3	既存 （法定）	特定健康診査 [家族等]	全て	男女	40 ～ 74	被扶養者,任意継続者	1	ア,キ,ケ,ス	・年度初めに対象者について、生活習慣病予防健診の案内と併せて、過去に特定健診受診券の利用履歴がある者に対しては受診券を配布する。 ・健保ガイド、組合ホームページ等においても周知し、受診を促す。	ウ,ク,シ	－	【目的】メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防と改善 【概要】(1)高齢者の医療の確保に関する法律20条に基づく健康診査、(2)受診先機関：①集合契約参加の健診機関、または②当組合と生活習慣病予防健診の実施にあたり委託契約締結の健診機関（けんば共同健診を含む） 【変更】なし《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	・メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防と改善 ・40歳以上被扶養者の健康維持	低迷している家族における健診受診率の改善		
	対象者全員に向けたDM等配布(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)前年度：1回（受診券配布時）												内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】5.1% 【目標値】令和6年度：5.0% 令和7年度：4.9% 令和8年度：4.8% 令和9年度：4.7% 令和10年度：4.6% 令和11年度：4.5%)算出条件：「特定健診の実施状況 一般（任継含）>男女計>家族>40歳以上 内臓脂肪症候群該当者割合」 ※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（5.1%）を入力済み									
健診受診率(【実績値】22.0% 【目標値】令和6年度：26.0% 令和7年度：31.0% 令和8年度：36.0% 令和9年度：41.0% 令和10年度：46.0% 令和11年度：51.0%)算出条件：「特定健診の実施状況 一般（任継含）>男女計>家族>40歳以上 健診受診率」 ※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（22.0%）を入力済み																						
特定保健 指 導 事 業	4	既存 （法定）	生活習慣改善プログラム（特定保健指導）	全て	男女	40 ～ 74	基準該当者	1	イ,エ,オ,キ,ケ,コ,サ,ス	・健診結果を階層化のうえ、随時、対象者に通知する。 ・本人については、所属事業所と情報共有のうえ連携を図りながら、対象者に対する利用勧奨を推進する。 ・けんば共同健診受診者（家族等）については、ワンストップ特定保健指導事業により対象者に利用を促す。 ・健保ガイド、組合ホームページ等においても周知し、利用を促す。	ア,イ,ケ,サー		【目的】糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群の減少（疾病の予防） 【概要】(1)高齢者の医療の確保に関する法律24条に基づく保健指導、(2)実施機関：①集合契約参加の健診機関、②定保健指導実施に関して当組合と個別契約を締結した母体協会が管理運営する医療機関、③当組合保健専門医、④けんばれん東京連合会共同事業、⑤当組合と委託契約を締結した外部委託事業者（RIZAP） 【変更】事業主に対するインセンティブとして勤奨委託料（4,000円/終了者）の新設	前年度事業の継続実施	前年度事業の継続実施	前年度事業の継続実施	前年度事業の継続実施	前年度事業の継続実施	糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群の減少（疾病の予防）	特定保健指導実施率の向上		
	特定保健指導実施率(【実績値】17.7% 【目標値】令和6年度：25.9% 令和7年度：32.5% 令和8年度：39.3% 令和9年度：46.0% 令和10年度：52.8% 令和11年度：60.0%)算出条件：「特定健診保健指導対象者の内訳 一般（任継含）>男女計>本人家族計>40歳以上 特定保健指導の終了者（小計）の割合」 ※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（17.7%）を入力済み												特定保健指導対象者割合(【実績値】14.9% 【目標値】令和6年度：14.5% 令和7年度：14.3% 令和8年度：14.0% 令和9年度：13.7% 令和10年度：13.5% 令和11年度：13.2%)算定条件：「特定健診保健指導対象者の内訳 一般（任継含む）>男女計>本人家族計>40歳以上 特定保健指導（積極的支援レベル）の対象者の割合+特定保健指導（動機付け支援レベル）の対象者の割合」 ※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（6.3%+8.6%）を入力済み									
	-												特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】23.3% 【目標値】令和6年度：23.5% 令和7年度：23.7% 令和8年度：24.0% 令和9年度：24.3% 令和10年度：24.5% 令和11年度：24.7%)算定条件：「内臓脂肪症候群該当者と保健指導対象者減少率 一般（任継含む）>男女計>本人家族計>40歳以上 特定保健指導対象者>特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率」 ※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（23.3%）を入力済み									
													52,846	-	-	-	-	-				

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標													アウトカム指標							
疾病予防	3	既存	生活習慣病予防健診【本人】	全て	男女	35～74	被保険者	3	ア,ウ,ケ	・毎年度当初に各事業所に対して健診補助にかかる事務連絡を通知する。 ・各健診補助額は、原則として健診実施年度中に支払う。	ア,イ,カ	－	【目的】事業主が行う定期健診との共同実施により受診率向上を図り、生活習慣病の他がん等の疾病の早期発見治療に寄与する。 【概要】(1)各事業所で実施される職員健診（労働安全衛生法66条）と併せて行われた法定外検査（大腸がん、胃、乳がん、子宮頸がん等）に対して一定額を補助し、補助額は健診を実施した事業主が代理受領する。(2)被保険者個人が任意で受診した健康診査（人間ドック等）は補助対象外。 【変更】ABC検査に対する補助の通年度化	《前年度事業を継続実施》	《前年度事業を継続実施》	《前年度事業を継続実施》	《前年度事業を継続実施》	《前年度事業を継続実施》	生活習慣病（がんを含む）等の疾病の早期発見	婦人科由来（乳房、女性生殖器）の悪性新生物にかかる有病者数、医療費の抑制と検診受診率の増加
	健診受診率（乳がん）(【実績値】22.8% 【目標値】令和6年度：23.0% 令和7年度：23.2% 令和8年度：23.4% 令和9年度：23.6% 令和10年度：23.8% 令和11年度：24.0%)※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（22.8%）を入力済み													1人当たり医療費（乳房）(【実績値】4,395円 【目標値】令和6年度：4,000円 令和7年度：3,600円 令和8年度：3,200円 令和9年度：2,800円 令和10年度：2,400円 令和11年度：2,000円)算出条件：「傷病（特定疾患）別医療費 悪性新生物＞4～3月（診療月）＞一般（任継含）＞男女計／本人＞医科計＞全年齢 実績値＞乳房の1人当たり医療費」※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（4,395円（R6.3集計時点））を入力済み／1人当たり医療費をR11年度までにR4年度における全組合集計値（2,044円）まで引き下げることを目標とする。						
	健診受診率（子宮がん）(【実績値】19.4% 【目標値】令和6年度：19.5% 令和7年度：19.7% 令和8年度：19.8% 令和9年度：19.9% 令和10年度：20.0% 令和11年度：20.0%)※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（19.4%）を入力済み													1人当たり医療費（女性生殖器）(【実績値】1,630円 【目標値】令和6年度：1,510円 令和7年度：1,390円 令和8年度：1,270円 令和9年度：1,150円 令和10年度：1,030円 令和11年度：900円)算出条件：「傷病（特定疾患）別医療費 悪性新生物＞4～3月（診療月）＞一般（任継含）＞男女計／本人＞医科計＞全年齢 実績値＞女性生殖器の1人当たり医療費」※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（1,630円（R6.3集計時点））を入力済み／1人当たり医療費をR11年度までにR4年度における全組合集計値（905円）まで引き下げることを目標とする。						
	3	既存	生活習慣病予防健診【家族等】	全て	男女	35～74	被扶養者,任意継続者	1	ア,ウ,ケ,ス	・健保ガイド、組合ホームページ等において周知し、受診を促す。 ・毎年度当初に35歳以上の対象者に対して健診案内を配布する。	カ,ク	【外部委託】株式会社イーウェル	3,339	《前年度事業を継続実施》	《前年度事業を継続実施》	《前年度事業を継続実施》	《前年度事業を継続実施》	《前年度事業を継続実施》	生活習慣病（がんを含む）等の疾病の早期発見	低迷している家族における健診受診率の改善 婦人科由来（乳房、女性生殖器）の悪性新生物にかかる有病者数、医療費の抑制と検診受診率の増加
	健診受診率（乳がん）(【実績値】2.3% 【目標値】令和6年度：2.5% 令和7年度：2.7% 令和8年度：3.0% 令和9年度：3.3% 令和10年度：3.5% 令和11年度：3.7%)※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（2.3%）を入力済み													1人当たり医療費（乳房）(【実績値】1,501円 【目標値】令和6年度：1,500円 令和7年度：1,500円 令和8年度：1,500円 令和9年度：1,500円 令和10年度：1,500円 令和11年度：1,500円)算出条件：「傷病（特定疾患）別医療費 悪性新生物＞4～3月（診療月）＞一般（任継含）＞男女計／家族＞医科計＞全年齢 実績値＞乳房の1人当たり医療費」※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（1,501円（R6.3集計時点））を入力済み／当面はR4年度実績値の横ばい推移を目指す。						
健診受診率（子宮がん）(【実績値】1.7% 【目標値】令和6年度：2.0% 令和7年度：2.2% 令和8年度：2.5% 令和9年度：2.7% 令和10年度：3.0% 令和11年度：3.3%)※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（2.7%）を入力済み													1人当たり医療費（女性生殖器）(【実績値】61円 【目標値】令和6年度：60円 令和7年度：60円 令和8年度：60円 令和9年度：60円 令和10年度：60円 令和11年度：60円)算出条件：「傷病（特定疾患）別医療費 悪性新生物＞4～3月（診療月）＞一般（任継含）＞男女計／家族＞医科計＞全年齢 実績値＞女性生殖器の1人当たり医療費」※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（61円（R6.3集計時点））を入力済み／当面はR4年度実績値の横ばい推移を目指す。							
4	新規	生活習慣改善プログラム（特定保健指導以外）	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ア,ケ	・健保ガイド、組合ホームページ等において周知し、利用を促す。	ア,イ,ケ	【外部委託】RIZAP株式会社	5,456	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群の減少（疾病の予防）	特定保健指導実施率の向上 生活習慣病の諸要因に対する重症化リスクの抑止	
参加人数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：200人 令和7年度：200人 令和8年度：200人 令和9年度：200人 令和10年度：200人 令和11年度：200人)-													新規導入事業であり、導入効果が未知数であるため(アウトカムは設定されていません)							
													1,237	-	-	-	-	-		

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
4	既存		重症化予防プログラム	全て	男女	0～74	基準該当者	1	イ,ク,ケ	・特定保健指導と併せて健診結果の階層化と対象者への案内を行う。 ・本人については、実施率向上のため、各事業所の健康管理委員より該当者に利用勧奨を行っていく。 ・途中脱落者については、当組合保健専門医から復帰のためのアプローチを行う。	ア,イ,ケ	【外部委託】SOMPOヘルスサポート 株式会社	【目的】糖尿病等の重症化予防 【概要】①DM性腎症、②高血圧、③糖尿病のいずれかの疾患において、治療中であるものの検査値不良により将来重症化が懸念される対象者を抽出して、個別に保健指導を行う。 【変更】なし《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	糖尿病又は高血圧症に伴う人工透析等の重症化予防	生活習慣病の諸要因に対する重症化リスクの抑止					
完了者数（DM性腎症）（【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：2人 令和7年度：2人 令和8年度：2人 令和9年度：2人 令和10年度：2人 令和11年度：2人)前年度：2名													有病者数（人工透析）（【実績値】 5人 【目標値】 令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)算出条件：「傷病（特定疾患）別有病者数 生活習慣病＞4～3月（診療月）＞一般（任継含）＞男女計＞本人家族計＞医科計 実績値＞人工透析の人数」※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（5人）を入力済み												
8	既存		インフルエンザ予防接種の一部補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア	・毎年度9月までに各事業所に対して予防接種補助にかかる事務連絡を通知する。 ・健保ガイド、組合ホームページ等においても周知し、受診を促す。 ・予防接種補助額は、原則として予防接種実施年度中に支払う。	ア	集団接種と個別接種の双方が補助対象である。	27,683	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	インフルエンザ罹患に伴う医療費の抑制	年々増加傾向にある一人あたりの医療費の抑制					
接種率（本人）（【実績値】 90.7% 【目標値】 令和6年度：91.0% 令和7年度：91.0% 令和8年度：91.0% 令和9年度：91.0% 令和10年度：91.0% 令和11年度：91.0%）※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（90.7%）を入力済み													1人当たり医療費（インフルエンザ）（【実績値】 229円 【目標値】 令和6年度：220円 令和7年度：220円 令和8年度：220円 令和9年度：220円 令和10年度：220円 令和11年度：220円)算出条件：「傷病（特定疾患）別医療費 季節性疾患／4～3月（診療月）＞一般（任継含）＞男女計＞本人家族＞医科計＞全年齢 実績値＞インフルエンザの1人当たり医療費」※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（220円）を入力済み／当面はR4年度実績値の横ばい推移を目指す。												
5	既存		禁煙外来の一部補助	一部の事業所	男女	20～74	被保険者	1	ア,ク,ケ	・毎年度当初に各事業所に対して禁煙支援補助にかかる事務連絡を通知する。 ・健保ガイド、組合ホームページ等においても周知し、利用を促す。	ア,シ	－	100	《前年度事業を継続実施》	《前年度事業を継続実施》	《前年度事業を継続実施》	《前年度事業を継続実施》	《前年度事業を継続実施》	喫煙が原因となる生活習慣病の予防	生活習慣病の諸要因に対する重症化リスクの抑止					
利用者数（禁煙達成者数）（【実績値】 0人 【目標値】 令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（0人）を入力済み													喫煙率の減少(【実績値】 13.6% 【目標値】 令和6年度：13.0% 令和7年度：13.0% 令和8年度：13.0% 令和9年度：13.0% 令和10年度：13.0% 令和11年度：13.0%)算出条件：「特定健診の問診回答 一般（強制）＞本人＞40歳以上＞たばこ」※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（13.6%）を入力済み／当面はR4年度実績値の横ばい推移を目指す。												
													660	-	-	-	-	-							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
	5,6	既存	EAPサービス (こころの相談)	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ス	・健保ガイド、組合ホームページ等において周知し、利用を促す。	ク	【外部委託】株式会社 セーフティネット	【目的】メンタル不調者の削減 【概要】(1)専門カウンセラーが24時間体制で、相談者からの電話・メールの相談を受け付け、希望者に対しては対面による面談も実施する。(2)電話相談については相談者の自己負担はなし。 【変更】なし《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	・メンタル不調に伴う退職者の削減 ・メンタル疾患に係る有病者数・医療費の減	メンタル疾患を原因とする退職者増に伴う職場内生産性低下の抑止			
電話相談件数(【実績値】5人 【目標値】令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)前年度：15件												有病者数割合（メンタル・本人）(【実績値】10.2% 【目標値】令和6年度：10.0% 令和7年度：10.0% 令和8年度：10.0% 令和9年度：10.0% 令和10年度：10.0% 令和11年度：10.0%)算出条件：「傷病（特定疾患）別有病者数 メンタル系疾患＞4～3月（診療月）＞一般（任継含）＞男女計＞本人＞医科計 実績値＞感情障害＋神経症、ストレス障害の合計割合 ※「令和5年度末の実績値」については暫定的にR4年度の実績値（10.2%）を入力済み／当面はR4年度実績値の横ばい推移を目指す。											
	3	既存	歯科健診	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ウ	健保ガイド、組合ホームページ等において周知する。	ク	【外部委託】株式会社 歯科健診センター	176 【目的】歯周疾患の早期発見・歯周疾患に係る有病者数・医療費の減 【概要】(1)利用希望者が、外部委託事業者と提携した全国歯科医院において歯周病疾患の有無等について診断を受ける。(2)利用者及び組合に負担は生じない。 【変更】なし《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	・歯周疾患の早期発見 ・歯周疾患に係る有病者数・医療費の減	年々増加傾向にある一人あたりの医療費の抑制			
周知回数の増(【実績値】- 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)前年度：0回（ただし、健保ガイドと組合ホームページで公開中）												利用者数の増(【実績値】- 【目標値】令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)前年度：1名											
予算措置なし	6	既存	健康相談	一部の事業所	男女	18 ～ (上限なし)	被保険者	1	ク	組合保健専門医が、被保険者からの健康に関する様々な不安に応じる。 例：健診結果等について分からないこと、特定保健指導・重症化予防・受診勧奨事業等についての質問、病気についての気になること	ケ	事務局本部のみを限定して、施行実施する。	0 【目的】退職者増に伴う職場内生産性低下の抑止 【概要】組合保健専門医が、被保険者からの健康に関する様々な不安について相談に応じる。（例：健診結果等について分からないこと、特定保健指導・重症化予防・受診勧奨事業等についての質問、病気についての気になること） 【変更】なし《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	《前年度事業の継続実施》	定期的な職員への周知 今後、他の事業所についても対象を拡大していく。	メンタル疾患を原因とする退職者増に伴う職場内生産性低下の抑止 生活習慣病の諸要因に対する重症化リスクの抑止			
	職員への周知(【実績値】- 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)前年度：1回												－ (アウトカムは設定されていません)										

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3)
ア. 加入者等へのインセンティブを付与
イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況）
ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況）
エ. ICTの活用
オ. 専門職による健診結果の説明
カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など）
ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備）
コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用
サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意）
シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用
ス. その他

注4)
ア. 事業主との連携体制の構築
イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築
ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築
エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築
オ. 自治体との連携体制の構築
カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築
キ. 保険者協議会との連携体制の構築
ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む）
コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理）
サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置）
シ. その他